

第1章 新潟市の概要

1 市勢概要	1
2 地勢	1
3 人口・世帯	2

1 市勢概要

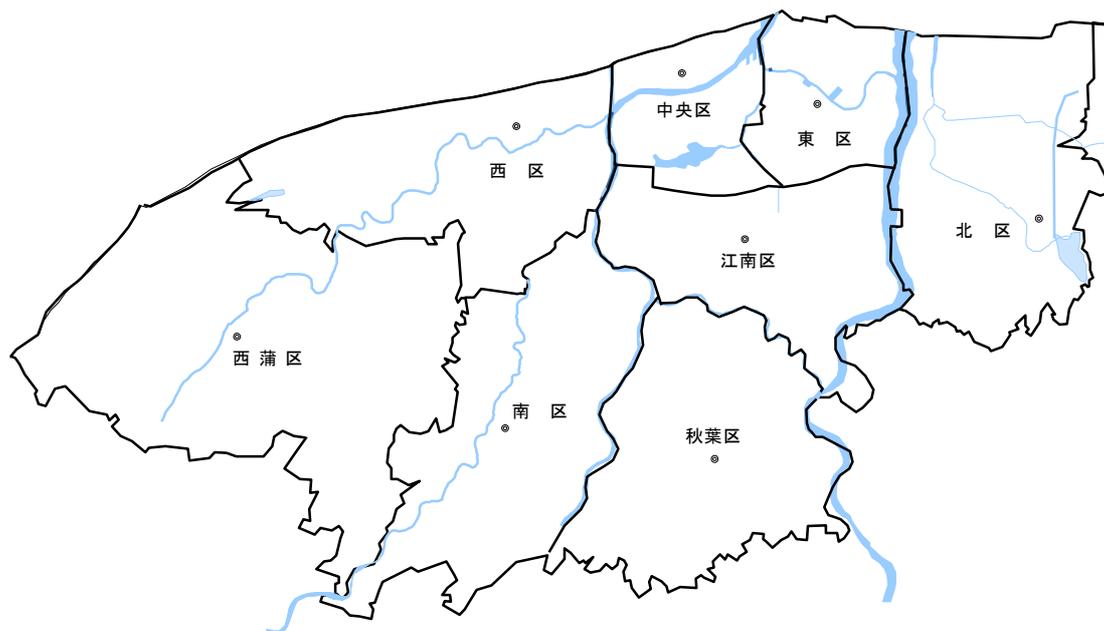
本州日本海側唯一の政令指定都市である新潟市は、日本海や信濃川、阿賀野川等の豊かな水辺と肥沃な土地、豊かな自然に恵まれるとともに、国内最大の水田面積を持つ大農業都市です。また一方では、整備された高速道路網や上越新幹線、国際空港、国際拠点港湾など、高度な都市機能を備えています。

開港5港の一つでもあり、日本海側を代表する港として発展してきた新潟港は2019年1月1日に開港150周年を迎えました。

本州日本海側の中心という地理的特性を生かしながら、「日本海拠点の活力」を高め、「北東アジアの文化交流拠点」、「防災・救援首都」としての役割を果たせるよう、よりいっそうの発展を目指しています。

2 地勢

面積	726.45 平方キロメートル
広がり	東西：42.5 キロメートル、南北：37.9 キロメートル
位置	極東：東経 139 度 16 分 01 秒
	極西：東経 138 度 47 分 03 秒
	極南：北緯 37 度 40 分 44 秒
	極北：北緯 38 度 01 分 12 秒



3 人口・世帯

人 口 789,897 人

世帯数 338,995 世帯

(住民基本台帳：平成31年3月31日)

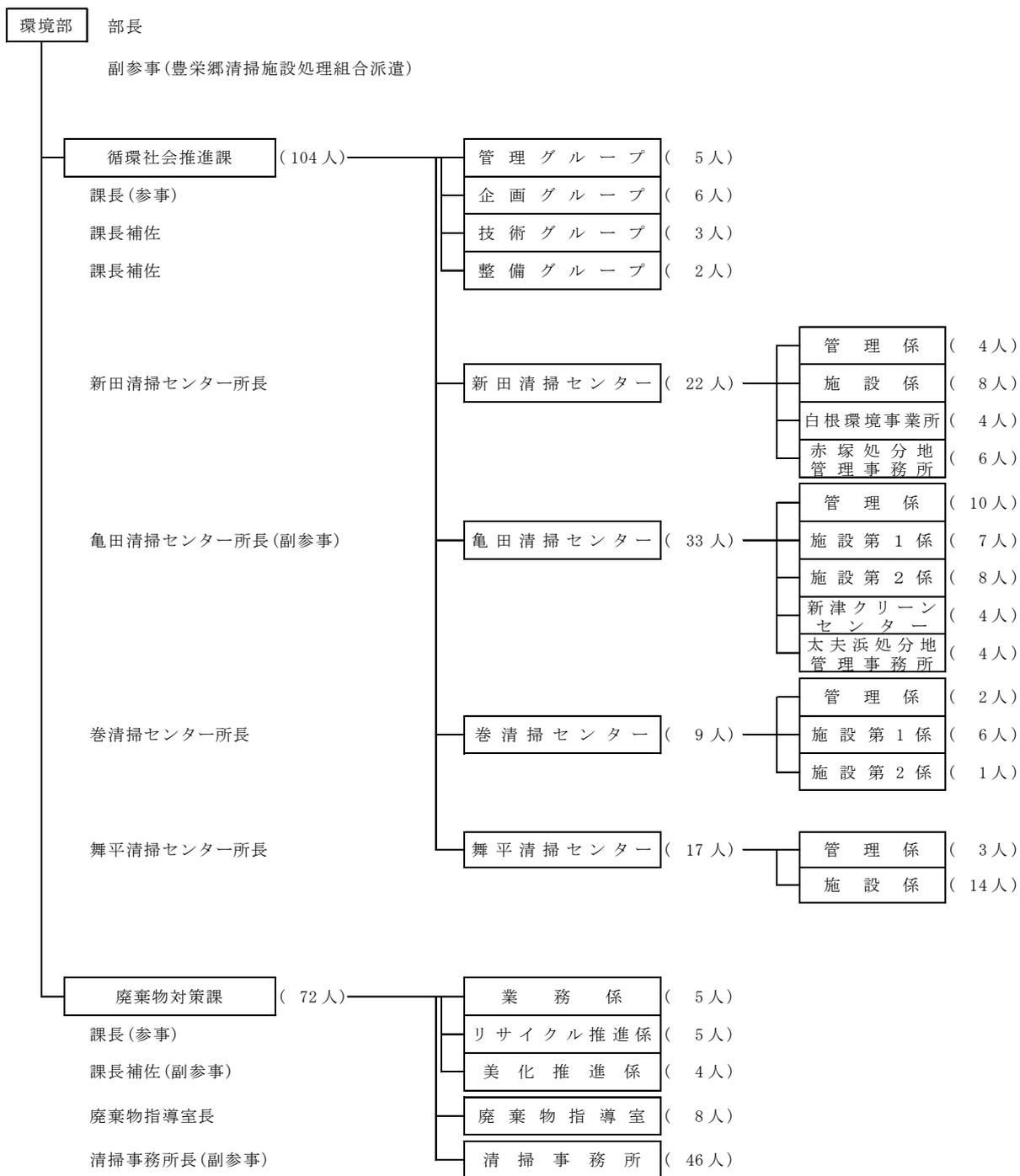
区	人 口	世帯数
北 区	74,113	29,079
東 区	136,779	61,061
中央区	175,242	87,081
江南区	68,626	27,134
秋葉区	76,998	29,953
南 区	44,786	16,078
西 区	156,464	68,192
西蒲区	56,889	20,417
合 計	789,897	338,995

第2章 組織・人員・施設等

1 組織	3
2 事務分掌	4
3 人員	7
4 事務所・施設	8
(1) 事務所	9
(2) 焼却施設	10
(3) 中間処理施設（破碎・選別等）	11
(4) 中継施設（自己搬入ごみの中継施設）	12
(5) 埋立処分地	13
(6) し尿処理施設	14
(7) 下水道投入施設	15

1 組織

(平成31年4月1日現在)



- 北区区民生活課
- 東区区民生活課
- 中央区窓口サービス課
- 江南区区民生活課
- 秋葉区区民生活課
- 南区区民生活課
- 西区区民生活課
- 西蒲区区民生活課

※ ()…人員数
臨時的任用職員・非常勤嘱託は含まない

2 事務分掌

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

課 (機関)	室・係 (機関)	分掌事務	
循環社会推進課		清掃事業に係る調査及び計画に関する事項	
		ごみの減量及び 3 R の推進に係る企画及び調査研究に関する事項	
		ふれあい健康センターに関する事項	
		資源再生センターに関する事項	
		一部事務組合 (清掃事業に係るものに限る。) の総合調整に関する事項	
		一般廃棄物処理手数料に関する事項 (廃棄物対策課の所管するものを除く)	
		廃棄物処理施設の運営及び整備の総括に関する事項	
		廃棄物処理施設の新設, 改良工事等 (各清掃センターの所管するものを除く。) の調査, 設計及び施工に関する事項	
		廃棄物処理施設の処理技術の調査研究に関する事項	
		廃棄物処理施設の附属施設の総括に関する事項	
(新田清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項	
		白根環境事業所に関する事項	
		処分地管理事務所に関する事項	
	施設係	廃棄物処理施設 (破碎施設を含む。) の管理運営並びに工事 (廃棄物施設課の所管するものを除く。) の調査, 設計及び施工に関する事項	
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等 (廃棄物対策課の所管するものを除く。) に関する事項	
	(白根環境事業所)	廃棄物処理施設の管理運営並びに工事 (廃棄物施設課の所管するものを除く。) の調査, 設計及び施工に関する事項	
		廃棄物処分費用に関する事項	
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等 (廃棄物対策課の所管するものを除く。) に関する事項	
	(赤塚処分地管理事務所)	赤塚埋立処分地及び小平方埋立処分地の管理運営に関する事項	
		廃棄物処分費用に関する事項	
	(亀田清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
			新津クリーンセンターに関する事項
処分地管理事務所に関する事項			
亀田清掃センター附属施設に関する事項			
廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等 (廃棄物対策課の所管するものを除く。) に関する事項			

課(機関)	室・係(機関)	分掌事務	
(亀田清掃センター)	施設第1係	廃棄物処理施設(粗大ごみ処理施設を含む。)の管理運営並びに工事(廃棄物施設課の所管するものを除く。)の調査、設計及び施工に関する事項	
		亀田清掃センター附属施設の工事の調査、設計及び施工に関する事項	
		廃棄物処理施設の調査に関する事項	
		亀田一般廃棄物処理場に関する事項	
	施設第2係	廃棄物処理施設(ごみ処理施設)の運営に関する事項	
	(新津クリーンセンター)	施設第1係	廃棄物処理施設の管理運営並びに工事(廃棄物施設課の所管するものを除く。)の調査、設計及び施工に関する事項
			廃棄物処分費用に関する事項
			廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等(廃棄物対策課の所管するものを除く。)に関する事項
	(太夫浜処分地管理事務所)	施設第1係	太夫浜埋立処分地及び横越埋立処分地の管理運営に関する事項
			廃棄物処分費用に関する事項
(巻清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項	
		廃棄物処理施設(ごみ処理施設、埋立処分地、し尿処理施設)の運営に関する事項	
	施設第1係	廃棄物処理施設(ごみ処理施設、埋立処分地)の管理運営並びに工事(廃棄物施設課の所管するものを除く。)の調査、設計及び施工に関する事項	
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等(廃棄物対策課の所管するものを除く。)に関する事項	
	施設第2係	廃棄物処理施設(し尿処理施設)の管理運営並びに工事(廃棄物施設課の所管するものを除く。)の調査、設計及び施工に関する事項	
	(舞平清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
舞平清掃センター附属施設の管理運営に関する事項			
廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等(廃棄物対策課の所管するものを除く。)に関する事項			
施設係		廃棄物処理施設の管理運営並びに工事(廃棄物施設課の所管するものを除く。)の調査、設計及び施工に関する事項	
		舞平清掃センター附属施設の工事の調査、設計及び施工に関する事項	

課(機関)	室・係(機関)	分掌事務
廃棄物対策課	業務係	一般廃棄物の処理委託及びその指導監督に関する事項
		清掃事務所に関する事項
		一般廃棄物処理手数料に関する事項（循環社会推進課の所管するものを除く）
		産業廃棄物処分費用に関する事項
	リサイクル推進係	一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項（事業系一般廃棄物を除く。）
		清掃事務所及び区役所の清掃業務の事務調整に関する事項
		ごみの減量及びリサイクルに係る事業の実施及び啓発に関する事項
	美化推進係	環境美化の推進に関する事項
	廃棄物指導室	産業廃棄物処理業の許可及び指導監督に関する事項
		産業廃棄物処理施設の設置の許可及び監視指導に関する事項
		産業廃棄物の収集運搬若しくは処分又は保管に係る調整及び指導に関する事項
		産業廃棄物に係る相談指導に関する事項
		一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項（事業系一般廃棄物に限る。）
		一般廃棄物処理業の許可及び指導監督に関する事項
		一般廃棄物処理施設の設置の許可及び監視指導に関する事項
建設工事に係る資材の再資源化等に関する事項（建築部建築行政課の所管するものを除く。）		
使用済自動車の再資源化等に関する事項		
(清掃事務所)	一般廃棄物の収集及び運搬に関する事項	
	一般廃棄物の適正処理の指導に関する事項	
	清掃作業用自動車の維持管理に関する事項	

○区役所（廃棄物関連の事務分掌）

- ・一般廃棄物の収集運搬に係る委託及び指導監督に関する事項
- ・一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項
- ・一般廃棄物に係る相談指導に関する事項
- ・一般廃棄物処理手数料に関する事項
- ・ごみの減量化及びリサイクルに係る事業の実施及び啓発に関する事項
- ・環境美化の推進に関する事項
- ・阿賀北広域組合に関する事項（北区役所に限る。）

3 人員

(平成31年4月1日現在)

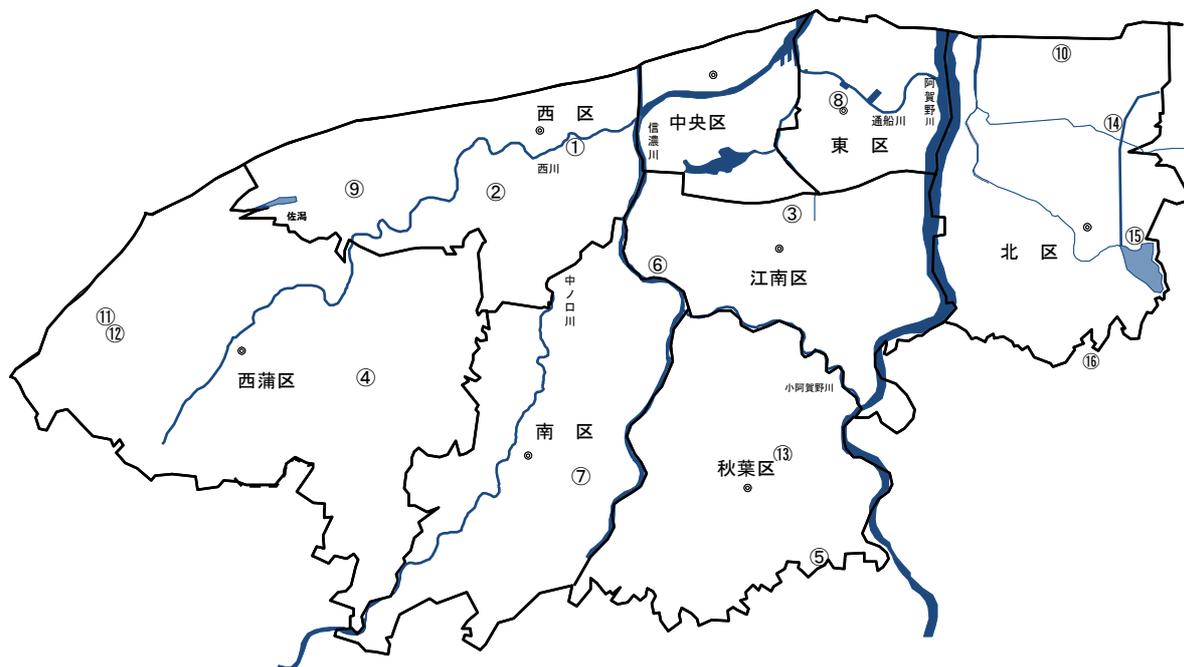
職種名 所属・係名	管理監督職				一 般 職 員							非 常 勤 嘱 託	専 任 宿 直 員	合 計	
	部 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹 ・ 係 長	事 務	ご み 処 理					し 尿 処 理				
						収 集 運 搬	焼 却	破 砕	埋 立	中 継 化					
環境部	1														1
循環社会推進課	0	2	2	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
課長・課長補佐		2	2												4
管理グループ				1	4										5
企画グループ				1	5										6
技術グループ				1	2										3
整備グループ				1	1										2
新田清掃センター	0	0	1	5	4	0	2	5	5	1	0	2	0	25	
所長			1											1	
管理係				1	3							1		5	
施設係				1			2	5						8	
白根環境事業所				2	1					1				4	
赤塚埋立地管理事務所				1					5			1		7	
亀田清掃センター	0	0	1	5	3	0	16	1	5	3	0	6	0	40	
所長			1											1	
管理係				1	3		4		2			5		15	
施設第1係				1			5	1				1		8	
施設第2係				1			7							8	
新津クリーンセンター				1						3				4	
太夫浜処分地管理事務所				1					3					4	
巻清掃センター	0	0	1	3	1	0	5	0	0	0	0	1	0	11	
所長			1											1	
管理係				1	1									2	
施設第1係				1			5							6	
施設第2係				1								1		2	
舞平清掃センター	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	13	1	0	19	
所長			1											1	
管理係				1	2									3	
施設係				1							13	1		15	
廃棄物対策課	0	1	3	5	18	45	0	0	0	0	0	11	0	83	
課長・課長補佐		1	1											2	
業務係				1	4									5	
リサイクル推進係				1	4									5	
美化推進係				1	3							5		9	
清掃事務所			1		1	45						1		48	
廃棄物指導室			1	2	6							5		14	
合 計	1	3	9	24	40	45	23	6	10	4	13	21	0	199	

※再任用職員24名を含む

※循環社会推進課に豊栄郷清掃施設処理組合派遣職員を含む

4 事務所・施設

(平成31年4月1日現在)



(1)事務所

- ① 清掃事務所
- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 巻清掃センター
- ⑥ 舞平清掃センター
- ⑭ 豊栄郷清掃施設処理組合
- ⑯ 阿賀北広域組合(阿賀野市)

(2)焼却施設

- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 鑑潟クリーンセンター
- ⑭ 豊栄環境センター

(3)中間処理施設～破碎・選別等

- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 鑑潟クリーンセンター
- ⑧ 資源再生センター
- ⑭ 豊栄環境センター

(4)中継施設

- ⑤ 新津クリーンセンター
- ⑦ 白根環境事業所
(白根グリーンタワー)

(5)埋立処分地

- ⑨ 第4赤塚埋立処分地
- ⑩ 太夫浜埋立処分地(第3期)
- ⑪ 福井埋立処分地
- ⑮ 江楓園

(6)し尿処理施設

- ⑥ 舞平清掃センター
- ⑯ 巻処理センター
- ⑯ 阿賀北広域組合
清掃センター(阿賀野市)

(7)下水道投入施設

- ⑬ 新津浄化センター
し尿受入施設

(1) 事務所

事務所名	清掃事務所	新田清掃センター
所在地	新潟市西区小新 2028 番地 1 TEL 025-266-5599 FAX 025-266-9408	新潟市西区笠木 3644 番地 1 TEL 025-263-1416 FAX 025-263-1417
敷地面積	13,450 m ²	52,436 m ²
建築面積	管理事務所 1,015 m ² 車庫 1,243 m ²	—————
管理施設 ・設備等	・直営収集車両基地	・新田清掃センター(焼却施設、破碎施設) ・第4赤塚埋立処分地 ・資源再生センター(啓発棟除く) ・白根環境事業所 (白根グリーンタワー・中継施設)

事務所名	亀田清掃センター	巻清掃センター
所在地	新潟市江南区亀田 1835 番地 1 TEL 025-382-4371 FAX 025-382-4373	新潟市西蒲区鎧潟 12618 番地 TEL 0256-76-2831 FAX 0256-76-2832
敷地面積	65,114 m ²	22,678 m ²
建築面積	—————	—————
管理施設 ・設備等	・亀田清掃センター (焼却施設、粗大ごみ処理施設) ・附属休憩所「田舟の里」 ・附属運動公園 ・太夫浜埋立処分地(第3期) ・新津クリーンセンター(中継施設) ・新津浄化センターし尿受入施設	・鎧潟クリーンセンター (焼却施設、リサイクルプラザ) ・福井埋立処分地 ・巻処理センター

事務所名	舞平清掃センター
所在地	新潟市江南区平賀 161 番地 1 TEL 025-280-3131 FAX 025-280-3133
敷地面積	22,816 m ²
建築面積	—————
管理施設 ・設備等	・舞平清掃センター(し尿処理施設) ・附属休憩所

(2) 焼却施設

施設名	新田清掃センター焼却施設	亀田清掃センター		
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター		
所在地	新潟市西区笠木 3644 番地 1 TEL025-263-1416 FAX025-263-1417	新潟市江南区亀田 1835 番地 1 TEL025-382-4371 FAX025-382-4373		
敷地面積	52,436 m ²	65,114 m ²		
建築面積	6,505 m ²	10,207 m ²		
延床面積	11,934 m ²	24,329 m ²		
処理方式	ストーカ+灰溶融炉	流動床		
処理能力	焼却炉：330t/24h(110t/24h×3 炉) 灰溶融炉：36t/24h(18t/24h×2 炉)	390t/24h (130t/24h×3 炉)		
運営方式	公設民営方式 (H24～R13 年度)	運転一部委託 (H28～) (夜間・土日祝・年末年始)		
工期	H20.7.1 ～ H24.3.31	初期建設	基幹改良工事	
		H5.6.16～H9.3.15	DCS:H24.7.2～H25.3.15 改良:H25.12.20～H28.3.15	
施工会社	JFE環境ソリューションズ(株)	(株)荏原製作所	荏原環境プラント(株)	
建設費	13,206,585 千円	23,116,972 千円	5,766,158 千円 (計画支援・DCS工事含む)	
	国庫補助	4,811,359 千円	3,389,159 千円	2,053,517 千円
	起債	7,280,300 千円	14,654,200 千円	2,835,300 千円
	一般財源等	1,114,926 千円	5,073,613 千円	877,341 千円
付帯設備等	・発電 7,800kW ・余熱利用施設 「破碎施設」 「アクアパークにいがた」	・発電 5,500kW(改良前：5,100kW) ・粗大ごみ処理施設と一体 ・H24～H27 に基幹改良工事実施 ・余熱利用施設「田舟の里」 ・附属運動公園		

施設名	鑑潟クリーンセンター	豊栄環境センター	
所管	巻清掃センター	豊栄郷清掃施設処理組合	
所在地	新潟市西蒲区鑑潟 12618 番地 TEL0256-76-2831 FAX0256-76-2832	新潟市北区浦ノ入 418 番地 TEL025-386-0909 FAX025-386-1003	
敷地面積	22,678 m ²	15,137 m ²	
建築面積	5,559 m ²	2,910 m ²	
延床面積	12,298 m ²	4,580 m ²	
処理方式	シャフト炉式ガス化溶融	ストーカ	
処理能力	120t/24h (60t/24h×2 炉)	130t/16h (40t/16h×2 炉+50t/16h)	
運営方式	運転委託	直営	
工期	H11.7.1 ～ H14.3.20	S54.10.27 ～ S55.12.30	
施工会社	新日本製鐵(株)	日立造船(株)	
建設費	8,002,050 千円	3,548,077 千円	
	国庫補助	2,046,895 千円	980,040 千円
	起債	5,538,800 千円	2,275,000 千円
	一般財源等	416,355 千円	293,037 千円
付帯設備等	・粗大ごみ用粗破碎機 ・発電 1,500kW ・リサイクルプラザと一体	・可燃性粗大ごみ破碎設備 5t/5h ※建設費は 3 号炉(50t)増設費(H7、8)を含む ・H10、11 排ガス対策工事実施(40t×2 炉)	

(3) 中間処理施設（破碎・選別等）

施設名	新田清掃センター破碎施設	亀田清掃センター粗大ごみ処理施設
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市西区笠木 3644 番地 1 TEL025-263-1416 FAX025-263-1417	新潟市江南区亀田 1835 番地 1 TEL025-382-4371 FAX025-382-4373
敷地面積	52,436 m ²	65,114 m ²
建築面積	4,932 m ²	10,207 m ²
延床面積	7,970 m ²	24,291 m ²
処理方式	縦型高速回転式細破碎機 二軸低速回転式粗破碎機	横型回転式破碎機 剪断式破碎機
処理能力	170t/5h (85t/5h×2系 縦型高速) (5t/5h×1系 二軸低速)	50t/5h (45t/5h×1系 横型) (5t/5h×1系 剪断)
運営方式	運転委託	運転委託
工期	H9.7.3 ~ H12.3.15	H5.6.16 ~ H9.3.15
施工会社	(株)荏原製作所	(株)荏原製作所
建設費	8,097,000 千円	3,123,078 千円
国庫補助 起債 一般財源等	3,981,470 千円	704,149 千円
	3,820,000 千円	1,944,600 千円
	295,530 千円	474,329 千円
付帯設備等		・焼却施設と一体

施設名	鎧湯クリーンセンター(リサイクルプラザ)	資源再生センター
所管	巻清掃センター	新田清掃センター
所在地	新潟市西蒲区鎧湯 12618 番地 TEL0256-76-2831 FAX0256-76-2832	新潟市東区下木戸 3 丁目 4 番 2 号 TEL025-270-3009 FAX025-270-3092
敷地面積	22,678 m ²	6,452 m ²
建築面積	5,559 m ²	2,292 m ²
延床面積	12,298 m ²	4,050 m ²
処理方式	かん 機械選別・圧縮 びん 自動色選別(H29.6~休止中) ペットボトル 圧縮梱包(休止中)	機械選別(スチール・アルミ缶)・圧縮
処理能力	かん 7t/5h びん 7t/5h(H29.6~休止中) ペットボトル 2t/5h(休止中)	缶のみ 21t/5h (10.5t/5h×2系) (全体 60t/5h (30t/5h×2系)) H20.6~びん処理中止中
運営方式	運転委託	運転委託
工期	H11.7.1 ~ H14.3.20	H6.10.3 ~ H8.3.15
施工会社	新日本製鐵(株)	(株)新潟鐵工所
建設費	868,350 千円	2,403,085 千円
国庫補助 起債 一般財源等	236,590 千円	1,158,550 千円
	596,700 千円	1,002,200 千円
	35,060 千円	242,335 千円
付帯設備等	・焼却施設と一体 ・啓発施設併設	・啓発施設併設(エコプラザ)

新潟市清掃事業概要

施設名	豊栄環境センター不燃物処理施設
所管	豊栄郷清掃施設処理組合
所在地	新潟市北区浦ノ入 418 番地 TEL025-386-0909 FAX025-386-1003
敷地面積	15,137 m ²
建築面積	622 m ²
延床面積	722 m ²
処理方式	衝撃剪断式
処理能力	30t/5h
運営方式	運転委託
工期	S61. 8. 4 ~ S62. 3. 25
施工会社	(株)栗本鐵工所
建設費	363,000 千円
国庫補助 起債 一般財源等	181,500 千円 145,200 千円 36,300 千円
付帯設備等	

(4) 中継施設 (自己搬入ごみの中継施設)

施設名	白根環境事業所(白根グリーンタワー)	新津クリーンセンター
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市南区臼井 2135 番地 1 TEL025-371-5070 FAX025-372-3708	新潟市秋葉区小口 1289 番地 1 TEL0250-22-0917 FAX0250-23-4641
敷地面積	6,892 m ²	13,256 m ²
建築面積	1,743 m ²	2,368 m ²
延床面積	3,174 m ²	3,644 m ²
運営方式	中継業務委託	中継業務委託
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ H24 年度より一部中継施設化 (可燃ごみのみ中継) ・ H31 年度より中継施設化 (全部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年度より中継施設化 (全部)

(5) 埋立処分地

施設名	第4赤塚埋立処分地	太夫浜埋立処分地(第3期)
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市西区東山123番地1 TEL025-239-2777 FAX025-264-3838	新潟市北区島見町4592番地14 TEL025-258-3533 FAX025-258-3540
敷地面積	138,699 m ²	54,874 m ²
埋立面積	99,600 m ²	33,100 m ²
埋立容量	492,000 m ³	237,500 m ³
浸出水処理方式	流入調整+カルシウム除去+ 生物処理+砂ろ過+消毒	接触酸化+凝集沈殿+砂ろ過
処理能力	320 m ³ /日	260 m ³ /日
運営方式	埋立作業委託・水処理直営	埋立作業委託・水処理直営
工期	H20.12.19 ~ H24.3.15	H10.7.2 ~ H13.3.15
施工水処理	大成・本間・五十嵐・近藤・荏原 JV (株)荏原製作所 新潟支店	加賀田・皆川・吉川 JV 日本鋼管(株)
建設費	4,348,620 千円	2,211,903 千円
国庫補助 起債 一般財源等	1,275,655 千円	957,653 千円
	2,554,700 千円	902,700 千円
	518,265 千円	351,550 千円
用地費	982,710 千円	1,648,117 千円
付帯設備等		・H27年度 埋立容量を変更 (182,000 m ³ → 237,500 m ³)

施設名	福井埋立処分地	一般廃棄物最終処分場江楓園
所管	巻清掃センター	豊栄郷清掃施設処理組合
所在地	新潟市西蒲区福井2653番地 TEL0256-72-8868 FAX0256-72-8868	新潟市北区前新田乙319番地1 TEL025-386-0909(事務局)
敷地面積	62,954 m ²	38,918 m ²
埋立面積	13,400 m ²	20,699 m ²
埋立容量	97,690 m ³	80,910 m ³
浸出水処理方式	接触酸化+凝集沈殿 +砂ろ過+活性炭	接触酸化+凝集沈殿 +砂ろ過+活性炭
処理能力	100 m ³ /日	230 m ³ /日
運営方式	埋立作業・水処理委託	埋立作業・水処理委託
工期	S57.12.1 ~ S58.8.31	H2.8.2 ~ H4.3.15
施工水処理	福田・本間・水倉・久住 JV 荏原エンジニアリングサービス(株)	(株)本間組 富士電機システムズ(株)
建設費	540,817 千円	1,410,070 千円
国庫補助 起債 一般財源等	126,469 千円	321,573 千円
	384,800 千円	886,000 千円
	29,548 千円	202,497 千円
用地費	204,767 千円	277,600 千円
付帯設備等	・掘起し用振動ふるい設備 ※H13年度整備、H28年度末停止	

(6) し尿処理施設

施設名	舞平清掃センター	巻処理センター
所管	舞平清掃センター	巻清掃センター
所在地	新潟市江南区平賀 161 番地 1 TEL025-280-3131 FAX 025-280-3133	新潟市西蒲区福井 79 番地 TEL0256-72-2835 FAX0256-72-2837
敷地面積	22,816 m ²	12,239 m ²
建築面積	4,231 m ²	1,684 m ²
延床面積	8,407 m ²	2,235 m ²
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理 +高度処理 汚泥再生 高温メタン発酵	膜分離高負荷脱窒素処理 +高度処理
処理能力	149 kl/日	73 kl/日
し尿 浄化槽汚泥 その他	58 kl/日 91 kl/日 生ごみ 1.8 t/日	12 kl/日 61 kl/日
運営方法	直営	運転委託
工期	H12.8.4 ~ H15.12.22	H22.9.30 ~ H24.3.15
施工会社	アタカ工業(株)	クボタ環境サービス・福田・加賀田 JV
建設費	5,528,970 千円	1,111,971 千円
国庫補助 起債 一般財源等	1,431,390 千円 3,093,100 千円 1,004,480 千円	253,673 千円 662,600 千円 195,698 千円
付帯設備等	・処理において発生するメタンガスを熱源に利用した附属休憩所併設	・H22~23 大規模改造更新(改造前施設の建屋、水槽を改修し再利用)

施設名	阿賀北広域組合清掃センター
所管	阿賀北広域組合
所在地	阿賀野市船居 496 番地 1 TEL025-387-3798 FAX025-387-3422
敷地面積	27,004 m ²
建築面積	1,836 m ²
延床面積	3,378 m ²
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理 +高度処理
処理能力	99 kl/日
し尿 浄化槽汚泥 その他	48 kl/日 44 kl/日 コミュニティプラント汚泥 7 kl/日
運営方法	運転委託
工期	H12.9.4 ~ H14.12.25
施工会社	栗田工業(株)
建設費	1,399,260 千円
国庫補助 起債 一般財源等	0 千円 1,104,300 千円 294,960 千円
付帯設備等	

(7) 下水道投入施設

施設名	新津浄化センターし尿受入施設
所管	亀田清掃センター
所在地	新潟市秋葉区古田ノ内大野開2番地
敷地面積	流域下水道終末処理場（新潟県新津浄化センター）内に設置
建築面積	232 m ²
延床面積	432 m ²
処理方式	希釈後新津浄化センターへ圧送
処理能力	55 k1/日（し尿・浄化槽汚泥） ※搬入日あたり
運営方式	運転委託
工期	H15.1.23 ～ H15.12.24
施工会社	(株)福田組、(株)大原鉄工所、 荏原実業(株)、神鋼電機(株)
建設費	178,949 千円
国庫補助 起債 一般財源等	0 千円 134,400 千円 44,549 千円
付帯設備等	・建設費は市負担分のみで、全体 工事費は 341,819 千円

第3章 事業費・原価・手数料

1 令和元年度当初予算	
(1) 歳入	17
(2) 歳出	17
2 清掃事業費等の推移	
(1) 清掃事業費決算額の推移	18
(2) 清掃手数料決算額収入の推移（現年分）	18
3 原価	
(1) 市民1人及び1世帯あたりのごみ処理原価の推移	19
(2) 重量及び体積あたりのごみ処理原価の推移	20
4 手数料	
(1) 処理手数料	21
(2) その他手数料	22

1 令和元年度当初予算

(1) 歳入

(単位：千円)

科目	節又は付記	R1(31)年度	30年度	増減	主な増減理由
		a	b	(a-b)	
使用料及び手数料	廃棄物処理施設附属休憩所使用料	10,270	10,135	135	
	衛生施設財産使用料	985	931	54	
	ごみ処理手数料	909,350	922,130	△ 12,780	指定袋販売枚数の減
	し尿処理手数料	124,629	123,167	1,462	客体数の増
	廃棄物処分手数料	1,034,714	1,041,106	△ 6,392	搬入量の減
	その他衛生手数料	6,593	5,141	1,452	許可申請件数の増
県委託金	衛生費委託金	709	643	66	
財産収入	財産貸付料	1,382	1,094	288	
	物品売払収入	407,886	421,391	△ 13,505	アルミ、鉄など単価の変動
諸収入	過料	41	45	△ 4	
	清掃費受託事業収入	3,574	3,387	187	
	雑入	260,649	219,770	40,879	亀田清掃センター電力売払量の増
市債	清掃債	175,500	67,400	108,100	対象事業の増
計		2,936,282	2,816,340	119,942	

(2) 歳出

(単位：千円)

項	目	R1(31)年度	30年度	増減	主な増減理由
		a	b	(a-b)	
総務管理費	諸費	411	399	12	
清掃費	清掃総務費	3,347,392	3,373,340	△ 25,948	人件費の減など
	ごみ処理費	3,028,967	2,995,322	33,645	消費税増税による増
	し尿処理費	345,800	342,628	3,172	
	清掃施設費	4,105,232	4,187,522	△ 82,290	施設の停止・廃止に伴う減
計		10,827,802	10,899,211	△ 71,409	

2 清掃事業費等の推移

(1) 清掃事業費決算額の推移

(単位：千円)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
諸 費	504	238	154	274	341
清掃総務費	3,633,940	3,690,830	3,449,953	3,370,897	3,291,911
ごみ処理費	2,892,715	2,903,201	2,952,935	3,015,092	2,992,880
し尿処理費	326,587	313,019	342,628	342,628	342,627
清掃施設費	6,900,643	7,744,165	4,121,036	4,154,113	4,058,431
計	13,754,389	14,651,453	10,866,706	10,883,004	10,686,190

(2) 清掃手数料決算額収入の推移（現年分）

(単位：千円)

区 分	ごみ処理手数料(指定袋等)			し尿処理手数料			合計		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
平成26年度	890,416	890,037	100.0%	162,839	155,656	95.6%	1,053,255	1,045,693	99.3%
平成27年度	926,770	925,593	99.9%	148,893	142,204	95.5%	1,075,663	1,067,797	99.3%
平成28年度	892,731	892,165	99.9%	137,868	131,941	95.7%	1,030,599	1,024,106	99.4%
平成29年度	900,363	900,018	100.0%	132,866	127,495	96.0%	1,033,229	1,027,513	99.4%
平成30年度	922,786	922,350	100.0%	125,015	119,787	95.8%	1,047,801	1,042,137	99.5%

(単位：千円)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
廃棄物処分手数料 (許可・自己搬入ごみ)	1,081,940	1,026,370	1,029,109	1,047,285	1,043,903

3 原価

(1) 市民1人及び1世帯あたりのごみ処理原価の推移

①ごみ

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部門直接原価 (円)	収 集 運 搬	3,020,711,554	3,053,204,214	3,116,748,992	3,130,196,737	3,176,647,793
	処 理	7,103,997,308	8,243,746,885	7,106,584,318	6,978,534,607	6,919,812,044
	焼 却	4,424,344,764	5,571,478,368	4,414,886,321	4,378,924,848	4,314,796,894
	中 間 処 理	1,999,936,855	2,029,948,085	2,069,108,984	1,975,389,864	1,976,724,908
	埋 立	679,715,689	642,320,432	622,589,013	624,219,895	628,290,242
	計	10,124,708,862	11,296,951,099	10,223,333,310	10,108,731,344	10,096,459,837
年度末人口(人)		801,270	799,345	796,269	794,166	789,897
年度末世帯数(世帯)		327,723	330,885	333,528	336,496	338,995
市民1人あたり (円/人)	収 集 運 搬	3,770	3,820	3,914	3,941	4,022
	処 理	8,866	10,314	8,925	8,787	8,760
	焼 却	5,522	6,970	5,544	5,514	5,462
	中 間 処 理	2,496	2,540	2,599	2,487	2,503
	埋 立	848	804	782	786	795
	計	12,636	14,134	12,839	12,728	12,782
1世帯あたり (円/世帯)	収 集 運 搬	9,217	9,227	9,345	9,302	9,371
	処 理	21,677	24,914	21,308	20,738	20,413
	焼 却	13,500	16,838	13,237	13,013	12,729
	中 間 処 理	6,103	6,135	6,204	5,870	5,831
	埋 立	2,074	1,941	1,867	1,855	1,853
	計	30,894	34,141	30,653	30,040	29,784

・中間処理には枝葉・草及び特定5品目の処理を含む

※平成27年度は、亀田焼却施設の基幹改良工事で更新した旧設備の未償却残高を経費に算入した。

②し尿

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 集 運 搬 (円)	326,587,310	313,019,399	342,627,840	342,627,840	342,627,840
年度末人口(人)	801,270	799,345	796,269	794,166	789,897
年度末世帯数(世帯)	327,723	330,885	333,528	336,496	338,995
1人あたり(円/人)	408	392	430	431	434
1世帯あたり(円/世帯)	997	946	1,027	1,018	1,011

③し尿及び浄化槽汚泥

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
処 理 (円)	945,854,033	923,723,174	842,005,676	866,471,288	875,767,805
年度末人口(人)	801,270	799,345	796,269	794,166	789,897
年度末世帯数(世帯)	327,723	330,885	333,528	336,496	338,995
1人あたり(円/人)	1,180	1,156	1,057	1,091	1,109
1世帯あたり(円/世帯)	2,886	2,792	2,525	2,575	2,583

・人口及び世帯数は、各年度3月末日現在の住民基本台帳人口

(2) 重量及び体積あたりのごみ処理原価の推移

①ごみ

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部門直接原価 (円)	収 集 運 搬	3,020,711,554	3,053,204,214	3,116,748,992	3,130,196,737	3,176,647,793
	処 理	7,103,997,308	8,243,746,885	7,106,584,318	6,978,534,607	6,919,812,044
	焼 却	4,424,344,764	5,571,478,368	4,414,886,321	4,378,924,848	4,314,796,894
	中 間 処 理	1,999,936,855	2,029,948,085	2,069,108,984	1,975,389,864	1,976,724,908
	埋 立	679,715,689	642,320,432	622,589,013	624,219,895	628,290,242
収 集 ・ 処 理 量 (t)	収 集 運 搬	181,942	178,528	174,898	174,146	170,442
	搬入(収集+直接搬入)	278,723	271,076	266,983	267,134	264,662
	焼 却	224,997	220,503	216,843	216,831	215,360
	中 間 処 理	53,737	50,271	49,350	50,529	50,157
	埋 立	23,790	22,350	21,712	22,319	24,261
1 tあたり (円/t)	収 集 運 搬	16,603	17,102	17,820	17,975	18,638
	搬入(収集+直接搬入)	25,488	30,411	26,618	26,124	26,146
	焼 却	19,664	25,267	20,360	20,195	20,035
	中 間 処 理	37,217	40,380	41,927	39,094	39,411
	埋 立	28,571	28,739	28,675	27,968	25,897

・中間処理には枝葉・草及び特定5品目の処理を含む

※平成27年度は、亀田焼却施設の基幹改良工事で更新した旧設備の未償却残高を経費に算入した。

②し尿

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 集 運 搬 (円)	326,587,310	313,019,399	342,627,840	342,627,840	342,627,840
収 集 運 搬 量 (kl)	20,651	18,903	17,133	16,736	15,213
1 klあたり (円/kl)	15,815	16,559	19,998	20,473	22,522

③し尿及び浄化槽汚泥

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
処 理 (円)	945,854,033	923,723,174	842,005,676	866,471,288	875,767,805
処 理 量 (kl)	105,194	99,587	97,547	90,530	90,709
1 klあたり (円/kl)	8,992	9,276	8,632	9,571	9,655

4 手数料

(1) 処理手数料

① ごみ

区分		手数料の額	
市が収集する 家庭系廃棄物 ※1	燃やすごみ 燃やさないごみ	指定袋・大(45 リットル)	45 円/袋
		指定袋・中(30 リットル)	30 円/袋
		指定袋・小(20 リットル)	20 円/袋
		指定袋・極小(10 リットル)	10 円/袋
		指定袋・超極小(5 リットル) ※2	5 円/袋
	粗大ごみ	500 円券	500 円
		300 円券	300 円
		200 円券	200 円
		100 円券	100 円
	動物の死体		1 個につき
施設に直接搬入 する場合	家庭系	10 キログラムまでごとに	60 円
	事業系	10 キログラムまでごとに	130 円

※1：手数料収入は市民還元事業に活用（30 ページ参照）

※2：平成 20 年 10 月から取り扱い開始

② し尿

一般世帯 (定額制)	人頭割額	1 人につき月額	370 円
	回数料	月 1 回を超える場合 1 回につき	515 円
定額制により難しいもの又は特別な事由があるもの（従量制） 18 リットルにつき			155 円

(2) その他手数料

①新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に規定するもの

区分	手数料の額
1 法第7条第1項の規定による一般廃棄物収集運搬許可申請手数料	1件につき 3,000円
2 法第7条第2項の規定による一般廃棄物収集運搬許可更新申請手数料	1件につき 3,000円
3 法第7条第6項の規定による一般廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき 3,000円
4 法第7条第7項の規定による一般廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき 3,000円
5 法第7条の2第1項の規定による一般廃棄物処理業事業範囲変更許可申請手数料	1件につき 3,000円
6 許可証再交付申請手数料	1件につき 1,000円

②新潟市手数料条例に規定するもの

種類	金額
1 一般廃棄物処理施設設置許可申請手数料	
(1) 法第8条第4項に規定する一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき130,000円
(2) その他の一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき110,000円
2 一般廃棄物処理施設の変更許可申請手数料	
(1) 法第8条第4項に規定する一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき120,000円
(2) その他の一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき100,000円
3 一般廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	
(1) 一般廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	1件につき33,000円
(2) 一般廃棄物の熱回収施設認定更新申請手数料	1件につき20,000円
4 一般廃棄物処理施設の譲受け(借受け)許可申請手数料	1件につき94,000円
5 一般廃棄物処理施設設置法人合併(分割)許可申請手数料	1件につき94,000円
6 2以上の事業者による産業廃棄物処理の認定に係る申請手数料	
(1) 2以上の事業者による産業廃棄物処理特例認定申請手数料	1件につき147,000円
(2) 2以上の事業者による産業廃棄物処理特例の変更認定申請手数料	1件につき134,000円
7 産業廃棄物処理業の許可等に係る申請手数料	
(1) 産業廃棄物収集運搬業許可申請手数料	1件につき81,000円
(2) 産業廃棄物収集運搬業許可更新申請手数料	1件につき73,000円
(3) 産業廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき100,000円
(4) 産業廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき94,000円
(5) 産業廃棄物収集運搬業の変更許可申請手数料	1件につき71,000円
(6) 産業廃棄物処分業の変更許可申請手数料	1件につき92,000円
(7) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可申請手数料	1件につき81,000円
(8) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可更新申請手数料	1件につき74,000円

種類	金額
(9) 特別管理産業廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき100,000円
(10) 特別管理産業廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき95,000円
(11) 特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可申請手数料	1件につき72,000円
(12) 特別管理産業廃棄物処分業の変更許可申請手数料	1件につき95,000円
8 産業廃棄物処理施設設置許可申請手数料	
(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第4項に規定する産業廃棄物処理施設に係るもの	1件につき140,000円
(2) その他の産業廃棄物処理施設に係るもの	1件につき120,000円
9 産業廃棄物処理施設の変更許可申請手数料	
(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第4項に規定する産業廃棄物処理施設に係るもの	1件につき130,000円
(2) その他の産業廃棄物処理施設に係るもの	1件につき110,000円
10 産業廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	
(1) 産業廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	1件につき33,000円
(2) 産業廃棄物の熱回収施設認定更新申請手数料	1件につき20,000円
11 産業廃棄物処理施設の譲受け（借受け）許可申請手数料	1件につき94,000円
12 産業廃棄物処理施設設置法人合併（分割）認可申請手数料	1件につき94,000円
13 使用済自動車再資源化業許可申請等手数料	
(1) 使用済自動車引取業者登録申請手数料	1件につき3,000円
(2) 使用済自動車引取業者登録更新申請手数料	1件につき3,000円
(3) 使用済自動車フロン類回収業者登録申請手数料	1件につき5,000円
(4) 使用済自動車フロン類回収業者登録更新申請手数料	1件につき5,000円
(5) 使用済自動車解体業許可申請手数料	1件につき78,000円
(6) 使用済自動車解体業許可更新申請手数料	1件につき70,000円
(7) 使用済自動車破砕業許可申請手数料	1件につき84,000円
(8) 使用済自動車破砕業許可更新申請手数料	1件につき77,000円
(9) 使用済自動車破砕業の変更許可申請手数料	1件につき67,000円

第4章 ごみ処理事業

1 「新潟市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」について	
(1) 概要	25
(2) 基本理念	25
(3) 数値目標	25
(4) 基本方針	25
2 経緯及び現況	
(1) 経緯	26
(2) 令和元年度ごみ処理計画フロー	26
3 ごみ減量制度	
(1) 10種13分別による高品質なリサイクルの推進	27
(2) 有料指定袋等導入によるごみ減量	29
(3) ごみ処理手数料収入の市民還元	30
(4) 市民・事業者・市による協働の取組み	31
4 ごみ収集処理実績	
(1) 平成30年度ごみ処理実績フロー	33
(2) 収集ごみの推移	33
(3) 直接搬入ごみの推移	34
(4) 平成30年度焼却施設搬入量内訳	34
(5) 平成30年度埋立処分地搬入量内訳	35
(6) 平成30年度中間処理（破碎・選別等）施設搬入量内訳	35
(7) 平成30年度資源化量内訳	35
(8) 家庭系1人1日あたりごみ量の推移	35
(9) ごみ排出量・資源化量・リサイクル率の推移	36
5 ごみ質分析	
(1) 平成30年度可燃物の分析	37
(2) 粗大ごみの受付個数の推移	37

1 「新潟市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」について

（1）概要

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき、本市におけるごみ処理の現状や課題をふまえて学識経験者や市民代表からなる清掃審議会における議論を経て策定されるもので、長期的・総合的視点に立った計画的なごみ処理の基本方針となるものである。その内容は、ごみの発生から最終処分に至るまでの適切な処理を進めるために必要な基本的事項を定めるもので、現計画は平成19年6月に策定された前計画を平成24年2月に全面改定し、平成24年度から平成31年度までの8年間を計画期間としている。

（2）基本理念

循環型社会と低炭素社会・自然共生社会を統合的に構築し、本市が持続的に発展するため、市民・事業者・市が一体となって「環境先進都市」の実現に向けた取組みを加速させていく。

（3）数値目標

区分	平成22年度（実績）	平成28年度（中間目標）	平成31年度（最終目標）
①家庭系ごみ量（1人1日あたり）	494g	484g（Δ10g）	474g（Δ20g）
②事業系ごみ排出量	84,393t	79,300t（Δ5,093t）	74,500t（Δ9,893t）
③リサイクル率	27.0%	29.8%（+2.8%）	30.9%（+3.9%）
④最終処分量	32,092t	22,500t（Δ30%）	21,800t（Δ32%）
（参考指標）廃棄物分野のCO ₂ 排出量	81,957t-CO ₂ /年	75,800t-CO ₂ /年（Δ8%）	73,100t-CO ₂ /年（Δ11%）

（4）基本方針

基本方針1：家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働

さらなる分別の徹底に努め、資源となるごみについては可能な限り資源化を図る。また、三者協働の理念に基づき市民一人ひとりのごみ減量意識を高め、3Rの優先順位に即した取組みを推進する。

基本方針2：事業系ごみの排出抑制と資源化の推進

市の事業系ごみに関する制度の周知徹底を図り、ごみの減量と資源化可能なものとの分別を推進する。また、資源物の搬入規制の強化など積極的な指導に取り組む。

基本方針3：違反ごみ対策ときれいなまちづくりの推進

地域住民の良好な生活環境を保持し、安心・安全なごみ出し環境を維持するため、ごみ集積場における違反ごみや、ごみ・資源物の持ち去り行為などへの対策を強化する。併せて、一斉清掃等の地域の取組みを支援・促進するとともに、ぽい捨て等及び路上喫煙の防止に関する条例のさらなる周知及び啓発を図る。

基本方針4：収集・処理体制の整備

市民・事業者のごみ減量化の努力と少子高齢社会の進展に伴い今後ごみ量が減少していく中で、安定的かつ効率的なごみの収集・処理体制を構築するとともに、廃棄物処理施設のあり方の検討を進める。また、大規模な災害が発生した場合においても十分に対応できるよう、真に実効性のある体制を整備する。

2 経緯及び現況

(1) 経緯

本市のごみ処理事業は、昭和 39 年開催の「新潟国体」を一つの契機として「きれいなまちづくり運動」を展開するとともに、それまでの収集用共同箱を廃止し、現在のようなポリ袋による定期回収（週 3 回）を確立した。

その後、プラスチック類が急増し、ごみの混合収集が焼却施設の管理面から困難となったため、昭和 51 年、プラスチック類を含む不燃ごみを「分別ごみ」として収集を開始した。また、廃乾電池等に起因する有害物質の影響が社会問題化したため、昭和 60 年度からこれらの分別収集を開始し、「普通ごみ」、「分別ごみ」、「粗大ごみ」と併せ 4 分別収集を行ってきた。

埋立処分地の延命化、生活環境の保全と資源の有効活用の観点から、「びん・缶」と「プラスチック」を資源物として収集する 6 分別収集を平成 8 年度から西新潟地区で、平成 9 年度からは全市で開始するとともに、びん・缶の選別施設と啓発施設を併せ持つ資源再生センター（愛称：エコプラザ）、燃えないごみなどの資源化を図る新田清掃センター破砕施設を整備した。

平成 12 年度に黒埼町、平成 16～17 年度に新津市、白根市、豊栄市など近隣 13 市町村と合併したが、ごみの収集・処理方法、手数料の金額等は、合併前の制度を継続していた。

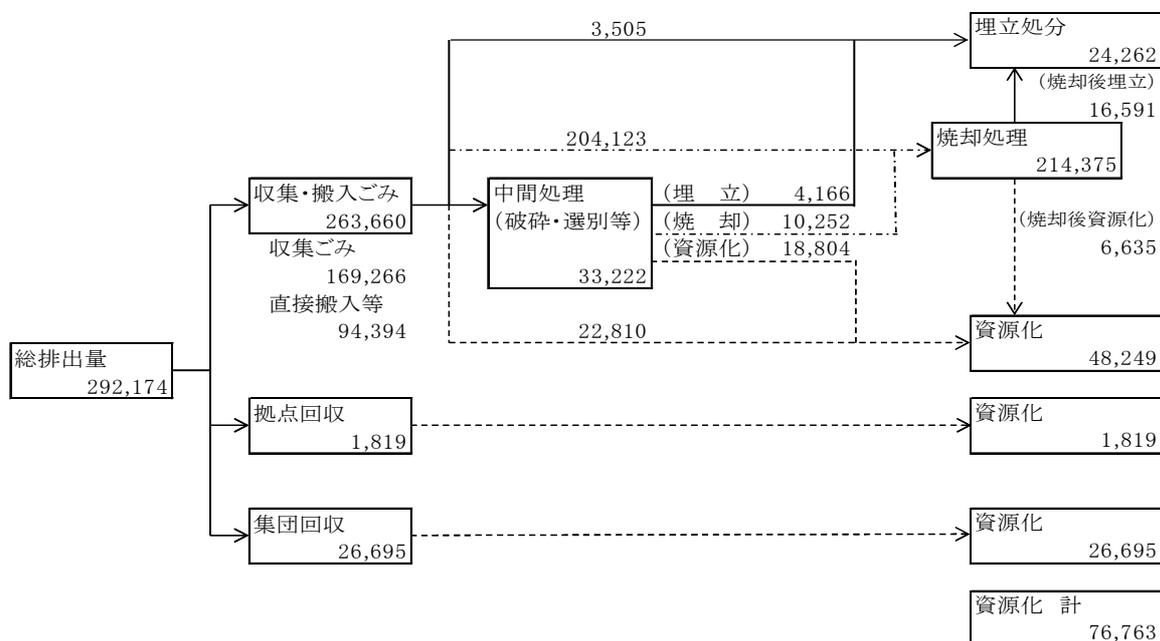
平成 20 年 6 月に制度を統一し、家庭系ごみは 10 種 13 分別（巻広域は 8 種 11 分別、平成 24 年度からは 9 種 12 分別）への変更と有料指定袋制などを導入した。事業系ごみは 10 分別の指針の策定と処理手数料の全市統一を行った。

平成 30 年 4 月には巻広域地区も 10 種 13 分別へと変更し、家庭系ごみの分別についても全市統一を行った。

市民・事業者・市が協働して、さらなるごみの減量化とリサイクルの推進を図っている。

(2) 令和元年度ごみ処理計画フロー

(単位：t)



3 ごみ減量制度

(1) 10種13分別による高品質なりサイクルの推進

10種13分別により可能な限り資源化を図り、最終的に焼却・埋立処分されるごみを極力削減するとともに、分別の徹底により、高品質なりサイクルを推進している。

平成22年4月からは「飲食用びん」に「化粧品びん」も出せることとし、「飲食用・化粧品びん」として収集を開始、平成24年4月から巻広域において「プラスチック製容器包装」の分別を開始した。

平成25年4月から紛らわしさを解消するため「プラスチック製容器包装」を「プラマーク容器包装」に、「有害・危険物」を「特定5品目」と分別の呼び名を変更した。

① 分別区分等

(平成31年4月1日現在)

区分		ごみの内容	収集回数	収集方法	手数料等
ごみ	燃やすごみ	厨芥類、皮革類など	週3回	ごみ集積場方式	有料 (指定袋)
	燃やさないごみ	金属類、ガラス類など	月1回		
	粗大ごみ	家具など	申込制	戸別収集	有料 (シール)
資源物	プラマーク容器包装	カップ・パック類、トレイ類など	週1回	ごみ集積場方式	無料
	ペットボトル	飲食用のペットボトル	月2回		
	古紙類	新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック	月2回		
	飲食用・化粧品びん	飲食用・化粧品のびん	月2回		
	飲食用缶	飲食用の缶	月2回		
	枝葉・草	剪定した枝・木など	週1回		
	特定5品目	乾電池類、蛍光灯、水銀体温計、ライター、スプレー缶類	月1回		

② ごみ集積場数

(平成31年4月1日現在)

北区	1,374 箇所	東区	2,488 箇所	中央区	3,725 箇所
江南区	847 箇所	秋葉区	1,497 箇所	南区	1,372 箇所
西区	3,229 箇所	西蒲区	1,194 箇所	合計	15,726 箇所

③ 搬入施設

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区 分	収集主体	搬 入 先
燃やすごみ	委託 直営	○ 新田清掃センター ○ 亀田清掃センター ○ 鎧潟クリーンセンター ○ 豊栄郷清掃施設処理組合 豊栄環境センター
燃やさないごみ	委託	○ 新田清掃センター ○ 豊栄郷清掃施設処理組合 豊栄環境センター
粗大ごみ	委託	○ 新田清掃センター ○ 亀田清掃センター
プラマーク容器包装	委託	○ 民間処理施設
ペットボトル	委託	○ 民間処理施設
飲食用・化粧品びん	委託	○ 鎧潟クリーンセンター（一時保管） ○ 民間処理施設
飲食用缶	委託	○ 新田清掃センター ○ 資源再生センター ○ 鎧潟クリーンセンター ○ 民間処理施設
特定 5 品目	委託	○ 新田清掃センター（処理・一時保管） ○ 亀田一般廃棄物処理場（処理・一時保管）
古紙類	委託	○ 民間処理施設
枝葉・草	委託	○ 第 4 赤塚埋立処分地（一時保管） ○ 亀田一般廃棄物処理場（一時保管） ○ 白根環境事務所（一時保管）

③ 自己搬入ごみの搬入先等区分

(平成31年4月1日現在)

搬入先	対象地域	区 分
新田清掃センター	北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、 南区、西区、西蒲区	燃やすごみ、 燃やさないごみ、 粗大ごみ
亀田清掃センター		
新津クリーンセンター		
白根環境事業所 (白根グリーンタワー)		
鎧漕クリーンセンター	西区(四ツ郷屋地区に限る)、西蒲区	
豊栄郷清掃施設処理組合 豊栄環境センター	北区(事業系ごみは、豊栄地区に限る)	

(2) 有料指定袋等導入によるごみ減量

ごみの減量とリサイクルの推進および分別徹底の観点から、従来、地域で異なっていたごみ処理手数料を平成20年6月の制度統一により、家庭系ごみの「燃やすごみ(巻広域は普通ごみ(※平成30年4月廃止))」「燃やさないごみ」は指定袋、「粗大ごみ」は処理券により、それぞれ有料とした。

事業系ごみは、事業者の自己処理責任に基づき、ごみ集積場への排出を禁止している。

排出抑制・リサイクルの推進を図るため、市の清掃センター等へ搬入する場合の手数料は、重量に応じた単純従量制とした。

(3) ごみ処理手数料収入の市民還元

家庭系ごみ有料化の目的が「ごみの減量・リサイクルの推進」であることから、指定袋作製等経費を差引いた手数料収入については、資源循環型社会促進策、地球温暖化対策及び地域コミュニティ活動の振興に資するよう市民に還元することとしている。

令和元年度 ごみ処理手数料の市民還元事業

事業名	事業概要
(1) 資源循環型社会促進策	
①分別意識の向上と啓発	◦ 情報紙「サイチョプレス」のリニューアル、20・10・0運動の実施、ごみ分別アプリの普及など
②クリーンにいがた推進員育成事業	◦ クリーンにいがた推進員への研修会、施設見学会、自治会等への報奨金など
③ごみ集積場設置等補助金	◦ ごみ集積場設置などへの補助、カラス被害対策用ネットの譲与
④地域清掃等への助成	◦ 環境美化活動費や不法投棄処理費への助成
⑤不法投棄・違反ごみ対策	◦ 廃家電等不法投棄物の処理など
⑥古紙資源化の一層の推進	◦ 集団資源回収奨励金、古紙行政収集地域活動支援金の交付など
⑦家庭系生ごみ減量化の推進	◦ 生ごみ処理機器の購入費補助 ◦ 講座の開催、乾燥生ごみ拠点回収の実施など
⑧古布・古着の拠点回収費	◦ 市民から持ち込まれる古布・古着を拠点で回収
(2) 地球温暖化対策	
⑨環境教育・環境学習に対する支援	◦ 副読本の作製配布、環境教育の実施、校内緑化など
⑩バイオマス利活用	◦ 家庭から排出される廃食用油を回収・再生利用
⑪にいがた未来ポイント事業	◦ 環境/健康活動に対しポイントを発行(環境部分経費)
⑫防犯灯設置補助金 (市民生活部所管)	◦ LED灯などの環境配慮型防犯灯の導入促進
(3) 地域コミュニティ活動の振興	
⑬ごみ出し支援	◦ ごみ出しが困難な世帯に対する支援活動費の助成
⑭地域活動への支援 (市民生活部所管)	◦ 地域活動補助金(地域の課題解決を図る活動などを支援) ◦ 防犯カメラ整備補助金(自治会等による設置を支援)

(4) 市民・事業者・市による協働の取組み

ごみの減量・リサイクルの推進を図るため、市民、事業者、市が一体となった取り組みを推進している。

① クリーンにいがた推進員制度

平成 20 年 2 月から、3R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用））、適正な分別排出、環境美化の促進及び普及啓発について、地域リーダーの役割を担うことを目的として活動を行っている。

ア 活動内容

- 地域住民に対するごみの分別、排出及び再生利用の促進に関する指導・助言
- 地域における美化活動の促進と環境意識の普及啓発
- 一般廃棄物の減量の推進及び生活環境の保全に関し、市と地域住民との連絡及び調整
- 市の環境事業に関する調査、情報収集等の協力

イ クリーンにいがた推進員数 5,565 人(令和元年 7 月末現在)

② ごみ出し支援事業**ア 内容**

高齢者や障がい者などのごみ出しが困難な世帯に対してごみ出しの支援を行う団体に、支援金を交付

イ 登録団体数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
登録団体数	119	152	178	195	216
助成額(円)	4,816,500	5,212,650	5,899,650	6,637,350	7,022,100

③ 事業系ごみの減量・リサイクルの推進

平成 20 年 6 月に、事業系ごみの適正処理や、ごみの減量・資源化を自発的に推進する事を目的として、10 分別の指針等からなる「事業系ごみ ごみ減量・リサイクルガイドライン」を策定した。あわせて、事業系ごみの処理手数料の全市統一を行うとともに、事業系古紙類の搬入規制を市の全ての焼却施設で実施している。

ア 3R 優良事業者認定制度

平成 25 年 6 月より、事業所から出されるごみの減量・資源化に関する取り組みを積極的に行っている事業者を「3R 優良事業者」として認定し、市ホームページ等でその活動を広く周知することにより、事業者の環境に配慮した取り組みを促進している。

イ ガイドラインの改訂

平成 25 年度に「事業系ごみ ごみ減量・リサイクルガイドライン」を改訂し、「事業系廃棄物処理ガイドライン」を策定した。平成 26 年度を普及・周知期間とし、平成 27 年度から本格施行しており、市のごみ処理施設に搬入できる事業系一般廃棄物の基準を明確化した。

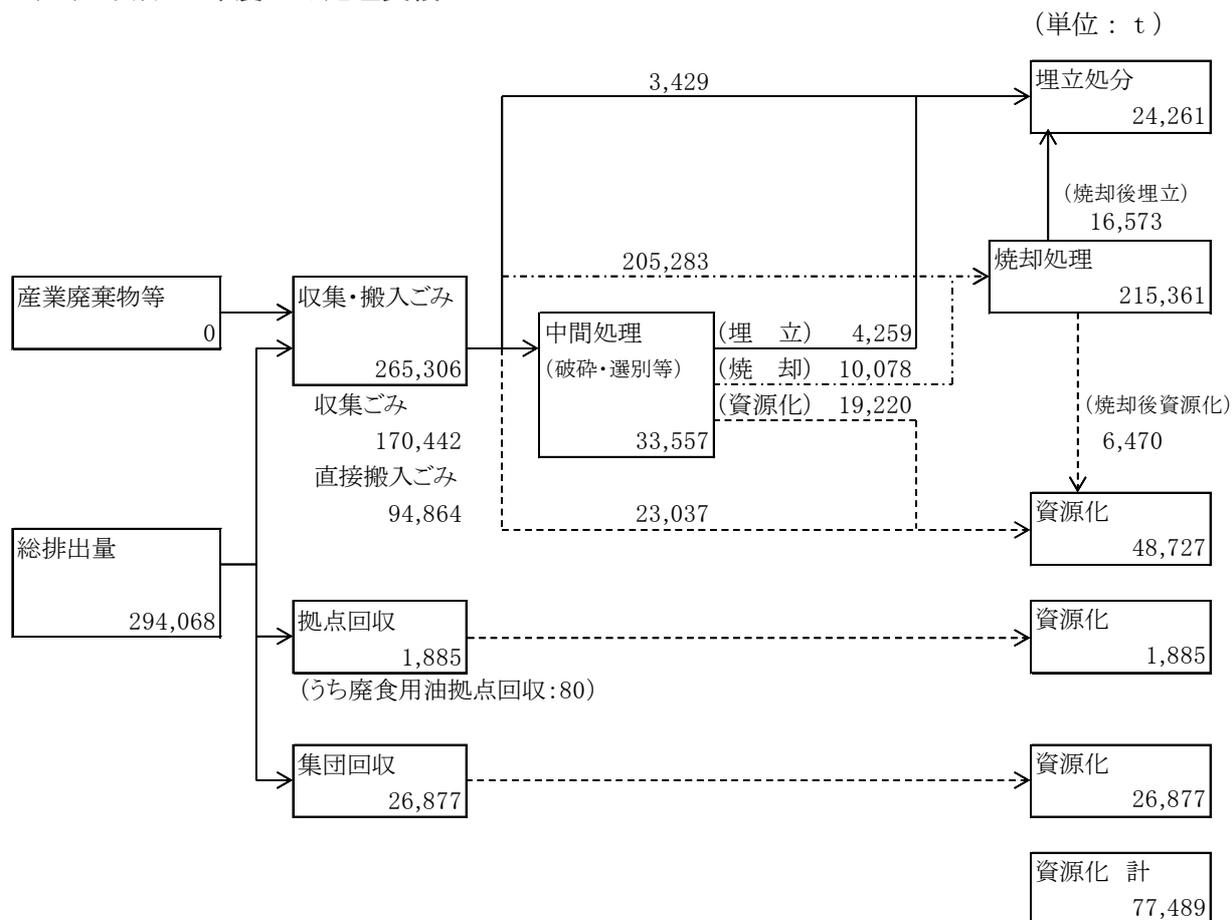
ウ 排出事業者訪問指導及び搬入規制の強化

市の処理施設では、古紙類及びびん・缶・廃プラスチック類等の産業廃棄物に対する搬入規制を行っている。

また、事業用大規模建築物等への訪問指導を行い、新ガイドラインによる制度の普及及び事業系ごみの減量に努めている。

4 ごみ収集処理実績

(1) 平成30年度ごみ処理実績フロー



(2) 収集ごみの推移

(単位：t)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度		収集台数 延稼働数(台)
						直営	委託	
燃やすごみ ※1	130,589	130,198	127,050	125,886	123,699	5,668	118,031	74,499
燃やさないごみ	3,731	3,674	3,478	3,502	3,849		3,849	3,556
粗大ごみ	3,123	3,000	2,869	2,905	3,126		3,126	7,185
プラマーク容器包装	8,707	8,572	8,425	8,400	8,275		8,275	12,854
ペットボトル	1,197	1,189	1,214	1,222	1,294		1,294	5,577
飲食用・化粧品びん	6,737	6,782	6,687	6,533	6,285		6,285	6,288
飲食用缶	2,301	2,187	2,008	1,990	1,948		1,948	5,479
古紙類	8,882	6,452	6,003	5,700	5,607		5,607	
枝葉・草	16,245	16,052	16,753	17,606	15,947		15,947	10,081
特定5品目	430	422	411	402	412		412	2,473
計	181,942	178,528	174,898	174,146	170,442	5,668	164,774	127,992
指数(平成19年度=100)	81	79	78	77	76			

※1 平成29年度までは巻広域地区の「普通ごみ」を含む

(3) 直接搬入ごみの推移

(単位：t)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度 搬入台数 (台)	
家庭系	直接搬入計	10,196	11,375	11,000	11,238	12,695	—	
	可燃ごみ } ※1 不燃ごみ }	3,804	4,181	4,614	4,399	4,625	—	
		5,967	6,749	5,931	6,325	7,564	—	
	資源 ※2	425	445	455	514	506	—	
事業系	許可計	80,623	75,915	76,285	76,686	76,501	48,347	
	可燃ごみ 不燃ごみ 資源 ※3	74,970	73,899	74,421	74,697	74,696	45,104	
		5,410	1,802	1,621	1,768	1,629	3,243	
		243	214	243	221	176	—	
	直接搬入計	6,712	5,935	5,523	5,756	5,668	—	
		可燃ごみ } ※4 不燃ごみ }	2,917	2,425	2,328	2,442	2,261	—
			3,288	3,047	2,715	2,843	2,939	—
		資源 ※3	507	463	480	471	468	—
合計		97,531	93,225	92,808	93,680	94,864	—	
	可燃ごみ	81,691	80,505	81,363	81,538	81,582	—	
	不燃ごみ	14,665	11,598	10,267	10,936	12,132	—	
	資源	1,175	1,122	1,178	1,206	1,150	—	

※1 市民が直接、ごみ処理施設に搬入したごみ(減免分含む)

※2 市民が直接、ごみ処理施設に搬入した資源(枝葉・草など)

※3 事業系資源とは、食品残さの堆肥化・飼料化量

※4 事業者が直接、ごみ処理施設に搬入したごみ(公共ごみ分含む)

(4) 平成30年度焼却施設搬入量内訳

(単位：t)

区分	計	焼却施設			
		新田清掃 センター	亀田清掃 センター	鎧潟 クリーン センター	豊栄環境 センター
収集	123,699	43,393	62,683	10,232	7,391
直接搬入	81,584	40,813	28,841	6,772	5,158
残渣等	10,078	3,542	5,392	956	188
計	215,361	87,748	96,916	17,960	12,737
産業廃棄物	0	0	0	0	0
他都市災害ごみ	0	0	0	0	0
合計	215,361	87,748	96,916	17,960	12,737

※白根グリーンタワーに搬入された直接搬入ごみは、新田清掃センターの直接搬入に含めている。

※新津クリーンセンターに搬入された直接搬入ごみは、亀田清掃センターの直接搬入に含めている。

(5) 平成30年度埋立処分地搬入量内訳

(単位：t)

区分	計	埋立処分地			
		第4赤塚埋立処分地	太夫浜埋立地(第3期)	一般廃棄物最終処分場江楓園	福井埋立埋立地
収集	0	0	0	0	0
直接搬入	3,429	2,004	1,396	29	0
残渣等	20,832	8,419	9,485	2,016	912
計	24,261	10,423	10,881	2,045	912
産業廃棄物	0	0	0	0	0
他都市災害ごみ	0	0	0	0	0
合計	24,261	10,423	10,881	2,045	912

(6) 平成30年度中間処理(破碎・選別等)施設搬入量内訳

(単位：t)

区分	計	中間処理施設							
		亀田清掃センター(粗大)	白根グリーンセンター(粗大)	豊栄環境センター(粗大)	資源再生センター(選別)	新田清掃センター(破碎)	鎧漕クリーンセンター(選別)	亀田一般廃棄物処理場(選別)	その他施設
収集	24,856	2,906	592	202	1,472	3,503	481	95	15,605
直接搬入	8,701	3,268	502	487	0	2,481	0	0	1,963
他中間処理施設※	0	509	△110	0	5	354	△345	13	△426
計	33,557	6,683	984	689	1,477	6,338	136	108	17,142
焼却残渣	10,078	5,278	314	184	60	2,110	20	22	2,090
埋立残渣	4,259	272	340	199	97	2,735	0	0	616
資源化	19,220	1,133	330	306	1,320	1,493	116	86	14,436

※ マイナスの数値は、中間処理残渣を再中間処理した量を表す(中間処理量の二重計上をしないため)

(7) 平成30年度資源化量内訳

(単位：t)

区分	計	資源化							
		プラスチック類	ペットボトル	ガラス類(びん等)	金属類(缶等)	古紙類	枝葉・草	有害物	その他
焼却処理後資源化	6,470	0	0	0	1,365	0	0	0	5,105
中間処理後資源化	19,220	7,253	1,069	5,836	4,497	0	0	0	565
直接資源化	51,799	0	875	4	62	33,206	16,370	297	985
合計	77,489	7,253	1,944	5,840	5,924	33,206	16,370	297	6,655

(8) 家庭系1人1日あたりのごみ量の推移

(単位：g)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ごみ(収集+直搬)※1	499	500	488	487	488
ごみ(収集のみ)※2	466	464	453	451	447
資源(収集のみ)※3	151	141	141	142	136

※1 (収集ごみ(燃やすごみ・普通ごみ・燃やさないごみ・粗大ごみ)+直搬ごみ(有料))÷人口÷年間日数(日)

※2 (収集ごみ(燃やすごみ・普通ごみ・燃やさないごみ・粗大ごみ))÷人口÷年間日数(日)

※3 (収集資源(プラマーク容器包装、ペットボトル、飲食用・化粧品びん、飲食用缶、特定5品目、古紙類、枝葉・草))÷人口÷年間日数(日)

(9) ごみ排出量・資源化量・リサイクル率の推移

(単位：t/年)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
人口		808,143	806,607	807,450	804,152	800,582		
家庭系 <small>（ごみ）</small>	収集	燃やすごみ	130,589	130,198	127,050	125,886	123,699	
		燃やさないごみ	3,731	3,674	3,478	3,502	3,849	
		粗大ごみ	3,123	3,000	2,869	2,905	3,126	
		計	137,443	136,872	133,397	132,293	130,674	
	資源	プラマーク容器包装	8,707	8,572	8,425	8,400	8,275	
		ペットボトル	1,197	1,189	1,214	1,222	1,294	
		飲食用・化粧品びん	6,737	6,782	6,686	6,533	6,285	
		飲食用缶	2,301	2,187	2,008	1,990	1,948	
		特定5品目	430	422	411	402	412	
		古紙類	8,882	6,452	6,003	5,700	5,607	
		枝葉・草	16,245	16,052	16,753	17,606	15,947	
	計	44,499	41,656	41,501	41,853	39,768		
	計	181,942	178,528	174,898	174,146	170,442		
	家庭系 <small>（ごみ）</small>	集団回収	古紙類	29,853	30,916	29,630	28,299	26,811
			その他	57	63	67	66	66
計			29,910	30,979	29,697	28,365	26,877	
拠点回収		古紙類	850	852	831	805	781	
		ペットボトル	736	748	751	744	773	
		乾電池	55	60	60	56	66	
		古布・古着	172	184	177	167	163	
		廃食用油	74	78	79	78	80	
		使用済小型家電	17	20	13	14	22	
計		1,904	1,942	1,911	1,864	1,885		
集団回収・拠点回収計	31,814	32,921	31,608	30,229	28,762			
家庭系直接搬入量	可燃ごみ	有料	3,760	4,138	4,551	4,372	4,591	
		無料	44	43	63	27	34	
		計	3,804	4,181	4,614	4,399	4,625	
	不燃ごみ	有料	5,894	6,698	5,868	6,276	7,463	
		無料	73	51	63	49	101	
		計	5,967	6,749	5,931	6,325	7,564	
資源物	425	445	455	514	506			
計	10,196	11,375	11,000	11,238	12,695			
合計	223,952	222,824	217,506	215,613	211,899			
事業系 <small>（ごみ）</small>	可燃ごみ	許可	74,970	73,899	74,421	74,697	74,696	
		直接搬入	2,010	1,934	1,837	1,900	1,749	
		公共ごみ	907	491	491	542	514	
		計	77,887	76,324	76,749	77,139	76,959	
	不燃ごみ	許可	4,565	974	1,017	1,073	1,099	
		直接搬入	466	387	263	287	257	
		公共ごみ	68	101	51	45	61	
		計	5,099	1,462	1,331	1,405	1,417	
	直接埋立	許可	631	600	425	695	530	
		直接搬入	319	430	436	615	855	
		公共ごみ	2,649	2,357	2,144	1,896	1,764	
		計	3,599	3,387	3,005	3,206	3,149	
	資源物	750	677	723	692	644		
	合計	87,335	81,850	81,808	82,442	82,169		
ごみ総排出量	311,287	304,674	299,314	298,055	294,068			
資源化量	86,829	84,935	83,762	79,747	77,489			
リサイクル率（飛灰含む）	27.9%	27.9%	28.0%	26.8%	26.4%			
リサイクル率（飛灰除く）※	27.8%	27.8%	27.9%	26.7%	26.3%			

※環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」の数値

5 ごみ質分析

(1) 平成30年度可燃物の分析

試料採取場所		新田清掃センター	亀田清掃センター	鎧漕クリーンセンター	豊栄環境センター
ごみの種類組成	紙類 (%)	40.1	39.5	54.2	51.3
	ビニール・皮革類等 (%)	17.5	22.8	16.2	27.0
	繊維類(布類) (%)	9.9	16.8	(紙類に含む)	(紙類に含む)
	木・竹・わら (%)	7.8	7.8	14.6	6.5
	厨芥類 (%)	16.3	8.7	10.9	12.2
	不燃物類 (%)	1.7	1.7	2.9	2.2
	その他 (%)	6.7	2.7	1.2	0.8
嵩比重 (t/m ³)	0.247	0.161	0.108	0.135	
3成分	水分 (%)	47.5	45.0	55.3	46.1
	灰分 (%)	6.0	5.3	4.8	4.9
	可燃分 (%)	46.5	49.7	39.9	49.0
低位発熱量(実測値) (kcal/kg)	2,005	2,380	1,464	1,928	
調査回数 (回)	12	12	4	4	

(2) 粗大ごみの受付個数の推移

(単位：個)

品目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家電類	オーディオ機器	1,565	1,419	1,270	1,304	1,362
	こたつ	4,072	4,055	3,658	3,499	3,608
	照明器具	1,958	1,885	1,579	1,717	1,810
	炊飯器	285	315	351	384	515
	扇風機	2,368	2,256	2,298	2,214	2,768
	掃除機	2,015	1,839	1,982	2,075	2,453
	電子レンジ	4,639	3,864	3,754	3,859	4,584
	その他家電	4,871	4,852	4,441	4,554	5,452
小計	21,773	20,485	19,333	19,606	22,552	
家具類	カーペット類	13,512	13,225	12,301	12,107	11,623
	カーテン・ブラインド等	3,203	2,946	2,888	3,029	2,984
	机・椅子	38,307	38,679	36,288	35,919	37,465
	たんす	6,786	6,799	6,664	6,359	7,160
	棚	5,241	5,320	5,113	5,327	5,665
	その他収納家具	25,287	25,742	24,909	25,329	26,647
	その他	19,314	19,040	17,673	17,257	18,242
小計	111,650	111,751	105,836	105,327	109,786	
寝具	スプリングマットレス	3,995	4,245	4,210	4,250	4,503
	ベッド類	5,439	5,427	5,183	5,076	5,385
	マットレス	5,747	5,801	5,587	5,883	5,736
	布団・毛布等	42,035	40,787	36,892	35,061	33,979
	座布団	1,743	1,800	1,738	1,676	1,620
	小計	58,959	58,060	53,610	51,946	51,223
スポーツ用品	自転車(電動含む)	12,298	11,340	10,391	10,471	11,887
	ゴルフ用具	1,568	1,571	1,380	1,336	1,326
	スキー用具	2,365	2,332	1,877	1,780	1,763
	その他	2,040	1,937	1,795	1,958	2,147
	小計	18,271	17,180	15,443	15,545	17,123
アウトドア用品	1,539	1,422	1,256	1,337	1,351	
健康用具	マッサージ機等	1,746	2,024	1,919	1,890	2,101
ガス・石油器具	ガスコンロ・ストーブ等	13,556	12,113	11,727	12,063	12,714
子ども用品		4,673	4,560	4,159	4,151	4,337
ペット用品		1,574	1,557	1,497	1,497	1,456
園芸用品		1,438	1,638	1,345	1,762	1,926
楽器		832	819	723	651	760
その他		35,969	36,748	34,745	37,632	39,385
合計		271,980	268,357	251,593	253,407	264,714

第5章 減量・資源化、環境美化

1 減量・資源化事業	
(1) 集団資源回収事業	39
(2) 資源物の拠点回収事業	39
(3) 廃食用油の拠点回収事業	40
(4) 家庭系生ごみのリサイクル	40
(5) マイボトルキャンペーン	42
(6) 学校給食残さの資源化	42
(7) 食品ロス削減の取り組み	42
(8) プラスチックごみ減量の取り組み	42
2 啓発事業	
(1) 広報活動	43
(2) 出前講座等の実施	43
(3) ごみの出し方よろず相談所「ナジラテ屋」のイベント出展事業	43
3 リサイクルプラザ事業	
(1) 資源再生センター（エコプラザ）啓発事業	44
(2) 新田清掃センター啓発事業	46
(3) 鎧湯クリーンセンター啓発事業	47
4 施設見学	
(1) 新田清掃センター	48
(2) 亀田清掃センター	48
(3) 鎧湯クリーンセンター	48
(4) 舞平清掃センター	48
(5) 巻処理センター	48
(6) 資源再生センター	48
5 余熱利用	
(1) ふれあい健康センター（アクアパークにいがた）	49
(2) 亀田清掃センター附属休憩所（田舟の里）	49
(3) 舞平清掃センター附属休憩所	49
(4) 発電	50
6 環境美化運動	
(1) きれいなまちづくり運動	51
(2) 海岸一斉清掃	51
(3) 各区における一斉清掃	51
(4) ボランティア清掃の参加者数（各区の一斉清掃含む）	52
(5) 環境美化整備等補助	52

1 減量・資源化事業

(1) 集団資源回収事業

本市では、昭和53年4月から市民運動として自治会・婦人会等を対象にした集団資源回収運動を提唱し、地域のリサイクル活動を推進してきた。さらなる活動の拡大を図るため、平成5年6月に奨励金制度を創設し、回収量1kgあたり3円の奨励金交付を開始した。その後、平成7年4月には4円、平成9年には5円に奨励金を引き上げ、平成13年4月には、古紙を重点的に回収するため6円に引き上げ、びん・缶の奨励金交付を廃止した。

また、回収に必要な用具の譲与や倉庫への補助等を実施している。

① 登録団体数

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
累計団体数	1,822	1,836	1,850	1,850	1,850

② 回収実績

(単位：t)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
古紙類	新聞	16,882	17,378	16,622	15,717	14,544
	雑誌	7,528	7,895	7,519	7,175	6,963
	段ボール	5,338	5,518	5,377	5,305	5,226
	牛乳パック	4	3	3	3	2
	古繊維	101	122	109	99	76
	小計	29,853	30,916	29,630	28,299	26,811
奨 励 金 額		179,121千円	185,492千円	177,779千円	169,796千円	177,596千円
その他	空きびん	8	7	7	6	4
	空き缶	49	56	60	60	62
	小計	57	63	67	66	66

(2) 資源物の拠点回収事業

行政収集や集団資源回収を補完し、幅広くリサイクルの受け皿を確保するため、次のとおり資源物の拠点回収を実施している。

① 古紙類

平成12年8月から資源再生センター（エコプラザ）で回収を開始。現在は、その他公共施設でも回収している。

② ペットボトル

平成9年6月から公共施設等で回収を開始。その後スーパーマーケットを加え回収している。

③ トレイ

北区豊栄地区について区役所等で回収している。

④ 乾電池

平成20年6月からスーパーマーケット等で回収している。

⑤ 古布・古着

平成22年4月にモデル事業として市内3か所で回収を開始。現在は、各区で回収している。

⑥ 使用済小型家電

平成 24 年 6 月にモデル事業として市内 12 か所でボックスによる回収を開始。現在は、対面や宅配便による回収もしている。

拠点回収量の推移及び平成30年度末拠点数 (単位:t)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	拠点数
①古紙類	845	849	831	805	782	16か所
②ペットボトル	733	745	751	741	772	231か所
③トレイ	3	3	3	3	3	25か所
④乾電池	55	60	60	56	66	120か所
⑤古布・古着	172	184	177	167	163	8か所
⑥使用済小型家電	17	20	13	14	22	52か所
計	1,825	1,861	1,835	1,786	1,808	452か所
(参考)⑥宅配便 *1	-	5.1	3.7	3.4	5.8	-
(参考)⑥ピックアップ*2	464.1	499.9	442.5	443.6	514.5	5施設

※回収拠点数は平成31年3月31日現在

*1:平成27年9月協定締結、10月から開始

*2:平成24年12月27日、清掃センター等に搬入された「燃やさないごみ」からの回収を開始

(3) 廃食用油の拠点回収事業

平成 19 年 6 月から廃食用油の拠点回収を開始。回収した廃食用油はバイオディーゼル燃料や家畜の飼料としてリサイクル活用をしている。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	拠点数
廃食用油 (kl)	36	38	39	39	38	市の窓口：28 か所 自治会等：92 か所

(4) 家庭系生ごみのリサイクル

燃やすごみで大きな比重を占める生ごみの減量を推進する取り組みを行っている。

① 生ごみ処理容器・電動生ごみ処理機の購入費補助

平成 3 年度に市民 50 人を対象としたコンポスト利用のモニターを行い、平成 4 年度から減額販売を開始した。平成 8 年度には EM ボカシ 容器の減額販売、平成 15 年度には電動生ごみ処理機の補助制度をそれぞれ開始し、平成 17 年の合併にあわせて制度を統一した。また、平成 25 年度から EM ボカシ 容器・コンポスト 容器を補助制度へ移行した。

(単位:基)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	※累計
コンポスト容器	101	91	68	54	38	22, 510
EMボカシ容器	79	58	61	41	30	19, 267
電動生ごみ処理機	52	53	59	51	58	4, 865

※制度開始時からの累計数

② 生ごみ減量推進運動

市民一人ひとりが自らのライフスタイルに合った方法で生ごみ減量に取り組めるよう、水切り講座など各種講座を開催するとともに、様々な減量方法を紹介するマンガ版ガイドブックを出前講座やイベント時に配布している。

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生ごみ 水切り 講座	回数(回)	2	2	4	4	4
	参加者(人)	58	61	119	40	73

③ 乾燥生ごみ拠点回収事業

電動生ごみ処理機の普及を図るため、市内9か所（平成31年4月1日現在）の拠点で乾燥生ごみを回収、市施設で堆肥化を行っている。堆肥は希望者に無料配布している。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
持込件数(件)	830	853	885	842	671
回収量 (kg)	3,878	3,596	3,487	3,328	2,880

④ 地域における生ごみ堆肥化活動

地域で生ごみの循環ループを構築することを目的に、平成24年度から江南区の直売所に生ごみ処理機を設置、平成27年7月にはさらに2か所（南区・西蒲区）増設し、地域での生ごみ堆肥化活動を推進している。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会員数 (人)	74	139	151	173	193
回収量 (kg)	2,211	4,887	3,827	4,223	4,627

⑤ 段ボールコンポストの普及

家庭で手軽にできる生ごみ資源化手法のひとつとして、市オリジナル段ボールコンポスト「サイチョのマジックダンボール」を製作し、平成27年10月から販売を開始した。

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
販売数	セット	—	240	458	509	387
	基材(袋)	—	—	66	90	117

⑥ エコライフ講座～減らそう！エネルギー・生ごみ～

平成30年度から、町内会・子ども会・学校など、省エネや生ごみ減量について学ぶ団体に、無料で講師の派遣や資料の提供を行っている。

区 分		平成30年度
生ごみ 水切り	回数(回)	2
	参加者(人)	38
生ごみ 堆肥化	回数(回)	—
	参加者(人)	—
段ボール コンポスト	回数(回)	1
	参加者(人)	13

※<減らそう！生ごみ編（家庭の生ごみ減量）講座の実績>

(5) マイボトルキャンペーン

リデュース（発生抑制）意識定着の一環として、マイボトルの普及を通じて市民、事業者双方のごみ減量意識を高めることを目的に、平成24年度から平成30年度までマイボトルキャンペーンを実施、マイボトルに商品（飲料）を提供するお店やマイボトル等を販売する店舗をマップ化して紹介する「マイボトルライフガイド」を作成し、市の施設やキャンペーン参画店、環境イベント等で配布した。また、スタンプラリーを実施し、使い捨て容器の削減、マイボトルの継続利用につなげた。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタンプラリー参加者数(人)	1,110	1,020	983	1,083	1,150
参画店舗数	201	180	161	160	176

(6) 学校給食残さの資源化

直営給食実施の各学校・幼稚園や給食センターから排出される給食残さの資源化に取り組んでいる。排出された残さは、養豚業者により飼料原料として活用されるほか、舞平清掃センター及び民間施設に搬入され堆肥化される。舞平清掃センターの堆肥は市民に無料配布、民間施設の堆肥は直接取引や地元農協を通じて農家へ販売されている。

①平成30年度 給食実施校と給食残さ資源化の状況 (単位：校・園)

区分	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	合計
給食実施校	10	106	29	2	147
飼料化	5	24	10	1	40
堆肥化	5	82	19	1	107

②学校給食残さの搬入量の推移 (単位：t)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
飼料化	民間施設	48	78	101	105	78
堆肥化	舞平清掃センター	230	186	184	173	187
	民間施設	228	199	195	194	203
合計		506	463	480	472	468

(7) 食品ロス削減の取り組み

ごみ減量・リサイクル推進月間に合わせ発行した情報紙に記事を掲載し、食品ロス削減に関する情報を提供した。また、宴会が始まってからの20分と、終わる前の10分は、自分の席について料理を食べ切る時間とすることで、食べ残しをゼロにする「20・10・0（にーまる・いちまる・ゼロ）運動」を飲食店と消費者が一体となって展開し、啓発用三角柱ポップの設置、ポスター、チラシや駅構内音声CMにより周知を行った。

(8) プラスチックごみ減量の取り組み

マイボトルキャンペーン、マイバッグ運動を実施したほか、ごみ減量・リサイクル推進月間に合わせ発行した情報紙に記事を掲載し、プラスチックごみの削減に向けた周知を行った。

2 啓発事業

(1) 広報活動

① 情報紙等

ごみの減量・リサイクルの推進のため、分別の徹底、ごみ出しマナーの向上、不法投棄の防止等について、資源とごみの情報紙「サイチョプレス」やチラシ、家庭ごみ収集カレンダー等を配布し周知啓発を行っている。転入者には「ごみ分別百科事典（日本語版）」や「家庭ごみの分け方・出し方（日本語版・外国語版）」を配布している。

② ごみ分別アプリ・ごみ分別検索サービス

ごみに関する様々な情報を手軽に入手できるよう、スマートフォン等で利用できる「サイチョのごみ分別アプリ」を公開しているほか、ごみの分別区分について調べることができる「サイチョ DE サーチ」サービスを提供している。

③ ごみ処理・リサイクル施設紹介DVD

ごみ処理施設、リサイクル施設でのごみ処理、リサイクルの様子をまとめたDVD「サイチョと学ぼう・新潟市ごみと資源のゆくえ」を作成。市内の図書館で貸し出しを行っているほか、市ホームページに掲載している。

④ 生ごみ減量・再活用方法紹介DVD

生ごみの水切りやコンポスト容器を使った堆肥化など、様々な生ごみ減量方法を紹介するDVD「にいがた生ごみ減量・再活用ナビ！はじめよう！生ごみダイエット作戦！」を作成。市内の図書館で貸し出しを行っているほか、市ホームページに掲載している。

(2) 出前講座等の実施

未就学児や小学校低学年へのごみの減量・リサイクル意識の啓発を目的とし、DVD教材「これってごみなの？」の視聴やごみ分別クイズを行う出前授業を実施している。

また、社会科で廃棄物処理について学習する小学4年生向けに、清掃事務所職員が収集車で出向き収集車の構造や操作方法、ごみの分別などの説明を行う出前講座「ごみのお話し」を実施している。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【出前授業】	51施設	54施設	49施設	62施設	80施設
未就学児・小学校低学年向け	3,190人	3,489人	3,083人	3,415人	4,427人
【出前講座】	37校	42校	54校	50校	58校
小学校4年生対象	2,141人	2,124人	3,112人	2,984人	3,225人

(3) ごみの出し方よろず相談所「ナジラテ屋」のイベント出展事業

平成25年度から、ごみや資源物をパネル展示し、分別が分かりにくい「プラマーク容器包装」「特定5品目」「燃やさないごみ」の説明、分別に関する不明な点の相談などを清掃事務所職員が実施している。平成26年度からは各区のイベントなどにも参加している。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出展回数 (回)	5	5	5	5	4

*主なイベント：にいがた西っこふゆまつり、北区環境まつり

3 リサイクルプラザ事業

(1) 資源再生センター（エコプラザ）啓発事業

資源再生センターは、ごみの減量やリサイクルについて学習したり、体験したりする事ができる啓発施設と「飲食用缶」の選別施設が一体となった施設である。

なお、「エコプラザ」とは、一般公募により名付けられた愛称である。

① リサイクル品提供事業

家庭で不要になった家具などを市民から無償で提供してもらい、清掃と簡単な補修を行ったのち展示し、抽選により提供している。なお、当選者には公益財団法人新潟市開発公社が行う「緑と花の基金」への募金をお願いしている。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
展示回数 (回)	12	12	10	12	12
展示点数 (点)	1,260	1,299	1,169	1,420	1,439
申込者数 (人)	11,396	12,434	11,321	12,629	12,342
募金額 (円)	625,602	638,703	552,711	665,608	659,433

② リサイクル情報登録バンク

有償・無償を問わず「譲りたい」あるいは「譲ってもらいたい」物がある市民の情報を登録し、交換の仲立ちをしている。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
譲ります (件)	73	44	59	24	22
譲ってください (件)	92	53	75	37	18
成立数 (件)	18	9	10	3	7

③ 環境啓発講座・講習会の開催

ア 夏休み体験教室

夏休みの子どもたちを対象に、ペットボトル・牛乳パック等を使ったリサイクル工作を実施している。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回数 (回)	14	18	24	22	25
参加者数 (人)	235	213	545	451	451

イ 環境啓発講座・講習会

おもちゃ病院・包丁とぎ、エコクッキング・EMボカシ容器やコンポスト容器で堆肥作りなどを実施している。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催数 (回)	132	134	149	147	176
参加者数 (人)	1,385	1,335	1,891	1,439	2,063

④ 環境フェスティバル

ごみの減量やリサイクル推進の啓発を行うため、10月のごみ減量・リサイクル推進月間にあわせ開催している。

開催日	平成30年10月14日(日)	
来館者数	2,500人	
催し物	フリーマーケット	36店舗が参加
	2F 大研修室等	ヒノキの小笛作り、椿油絞りと里山和精油作り、お山の森の木の学校・木工工作教室、おもちゃ病院～修理体験～、消しゴムハンコでカラフル布小物作り、ワイヤーでかわいい昆虫作り、牛乳パックで紙すき体験
	展示コーナー	展示提供、エコープラザスタッフによる手作り作品展、パッチワーク展示、子どもエコ絵画展
	1F エコーホール	ストローとんぼ工作、くるみボタンヘアゴム作り、カラカラ・ブンブンごま作り、オープンカフェ
	PRコーナー	ゆるキャラ握手&撮影会

⑤ 施設貸出

ごみの減量やリサイクル、環境問題に関係した活動に対し、施設を無料で貸出している。

室名	利用人数(人)				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大研修室	1,471	1,995	1,575	1,547	1,247
研修室	0	52	89	70	69
実習室	0	0	0	4	0
講座室1	0	0	0	0	0
講座室2	228	182	103	118	76

⑥ 図書・ビデオ・DVDの貸出

ごみ・環境問題についての図書・ビデオ・DVDの閲覧・貸出を行っている。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
図書貸出(冊)	86	249	393	342	390
ビデオ貸出(本)	0	0	0	0	0
DVD貸出(件)	7	13	8	3	4

⑦ 施設見学案内

選別施設内の見学者通路からの施設案内に加え、ごみの減量やリサイクルについて啓発を行っている。

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	団体数(団体)	見学者(人)								
団体見学	62	2,537	54	2,620	42	1,894	70	2,554	56	2,644
一般見学	—	18,977	—	19,710	—	19,032	—	19,696	—	19,525
計	62	21,514	54	22,330	42	20,926	70	22,250	56	22,169

(2) 新田清掃センター啓発事業

新田清掃センターの破砕施設には、再生工房と展示ホールが併設され、リサイクル品提供事業及び図書・ビデオの貸出を行っている。

① リサイクル品提供事業

資源再生センターで回収されたリサイクル可能な家具などについて、再生工房で清掃と簡単な補修を行い、ホールに展示後、抽選により無償で提供している。

なお、当選者には資源再生センターと同様に募金をお願いしている。

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
展示回数 (回)	—	4	4	4	4
展示点数 (点)	—	240	242	263	260
申込者数 (人)	—	736	799	836	671
募金額 (円)	—	85,510	84,156	97,254	82,005

※旧焼却施設解体工事のため平成26年度は未実施

② 図書・ビデオの閲覧等

ごみ、リサイクル、環境問題に関する図書とビデオを備え、閲覧と貸出を行っている。

○ 蔵書数：624冊、ビデオ：16本、DVD：8本(平成31年3月末現在)

③ 施設見学案内

小学校4年生の社会科授業の一環としての見学など、多くの市民が訪れることから、リサイクル等についての啓発も行っている。

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	団体数 (団体)	見学者 (人)								
団体見学	62	2,503	58	2,769	59	2,561	57	2,611	50	2,475
一般見学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	62	2,503	58	2,769	59	2,561	57	2,611	50	2,475

(3) 鎧潟クリーンセンター啓発事業

鎧潟クリーンセンターには、展示ホール及びワークショップコーナーが併設され、リサイクル品提供事業等を行っている。

① リサイクル品提供事業

資源再生センターで回収されたリサイクル可能な家具などについて、清掃と簡単な補修を行い、展示ホールに展示後、抽選により無償で提供している。なお、当選者には資源再生センターと同様に募金をお願いしている。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
展示回数(回)	1	1	3	5	4
展示点数(点)	36	45	87	378	296
申込者数(人)	38	102	301	567	354
募金額(円)	6,800	12,950	42,741	79,058	62,252

② 施設見学案内

小学校4年生の社会科授業の一環としての見学など多くの市民が訪れることから、リサイクル等についての啓発も行っている。

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	団体数 (団体)	見学者 (人)								
団体見学	25	705	24	669	19	581	15	374	12	280
一般見学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	25	705	24	669	19	581	15	374	12	280

4 施設見学

ごみの減量・リサイクルの推進に関する意識の高揚を図るため、施設の見学を受け付けている。

(1) 新田清掃センター ※再掲

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	62	58	59	57	50
見学者数 (人)	2,503	2,769	2,561	2,611	2,475

(2) 亀田清掃センター

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	44	43	46	49	51
見学者数 (人)	3,029	3,302	3,608	3,398	3,409

(3) 鎧潟クリーンセンター ※再掲

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	25	24	19	15	12
見学者数 (人)	705	669	581	374	280

(4) 舞平清掃センター

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	3	5	7	2	5
見学者数 (人)	32	34	54	43	68

(5) 巻処理センター

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	3	4	3	0	0
見学者数 (人)	21	34	26	0	0

(6) 資源再生センター ※再掲

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数 (団体)	62	54	42	70	56
見学者数 (人)	2,537	2,620	1,894	2,554	2,644

5 余熱利用

(1) ふれあい健康センター（アクアパークにいがた）

環境保全やごみ処理事業の市民理解とイメージアップを図るため、新田清掃センター焼却施設の余熱を利用した施設として、平成 12 年 7 月にオープンした。多様な温浴機能を使って有酸素運動やマッサージなどをすることができ、健康増進に役立つ施設として広く利用されている。

① 主な設備

(1 階)

- ・流水アクア（1周 60mの流れるプール）
- ・健康アクア（気泡や噴流のあるプール）
- ・温浴アクア（ジャグジー、座湯、寝湯）
- ・子供アクア（すべり台付き幼児用プール）など

(2 階)

- ・浴室
- ・サウナ
- ・レストラン
- ・スタジオ（健康教室）など

② 利用者実績

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	267,378	233,512	258,371	254,640	265,897

(2) 亀田清掃センター附属休憩所（田舟の里）

亀田清掃センター焼却施設の余熱を利用した施設として、平成 15 年 12 月にオープンした。男女別の浴室、85 畳の休憩室、各種研修会などに利用できる多目的ホールのほか、ごみのリサイクル推進・資源循環型社会の啓発に向けた展示コーナーを設けており、市民に広く利用されている。

① 主な設備

- ・男女別浴室
- ・休憩室（和室 85 畳）
- ・多目的ホール

② 利用者実績

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	46,637	51,294	49,838	49,240	51,209

(3) 舞平清掃センター附属休憩所

舞平清掃センターの汚泥再生処理工程で発生するメタンガスを利用した施設として、平成 16 年 1 月にオープンした。男女別の浴室、休憩室のほかに卓球やバドミントンが可能な多目的ホールを併設しており、市民の憩いの場として広く利用されている。

① 主な設備

- ・男女別浴室
- ・休憩室（21+18 畳）
- ・多目的ホール

② 利用者実績

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	21,959	21,873	21,190	21,644	18,030

※平成 30 年度は設備改修の為 12 月及び 1 月は休館

(4) 発電

焼却余熱から回収した蒸気で発電を行い、施設内外で活用されている。

(平成 30 年度発電量)

① 新田清掃センター焼却施設	43,240MWh
② 亀田清掃センター焼却施設	34,512MWh
③ 鎧潟クリーンセンター	4,616MWh

6 環境美化運動

(1) きれいなまちづくり運動

「自分たちの住むまちは自分たちの手できれいに」という趣旨のもと「捨てない、汚さない」を運動の基調として、ごみ袋の配布などによるPRや海岸、道路、公園などでのクリーン作戦を展開している。また、運動を推進するため、用具の貸出等の支援を行っている。

活動内容	期日	参加者(人)	備考
新潟まつり花火大会会場におけるごみマナーPR	8月12日	26	ごみ袋 1,800枚
新潟まつり花火大会 早朝のごみ拾い	8月13日	178	ごみ収集量 250kg
ぼい捨てやめよう キャンペーン	9月22日	520	ごみ収集量 160kg

(2) 海岸一斉清掃

海水浴シーズンに合わせ、昭和52年から地元自治・町内会など関係団体の協力を得ながら、海岸一斉清掃を実施している。

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
期日	7月21日	7月20日	7月18日	7月17日	7月16日
参加者(人)	4,900	3,000	4,300	4,100	4,200
ごみ収集量(t)	18	18	19	18	14

(3) 各区における一斉清掃等

各区で様々な清掃活動が行われており、平成30年度の実施状況は次のとおりである。

区	事業名	実施日	ごみ収集量
北区	福島潟クリーン作戦	4月13日	2.3t
東区	クリーン大作戦	5月19日～9月30日	11.3t
中央区	鳥屋野潟一斉清掃	5月27日	0.7t
	関屋浜海岸清掃	雨天中止	—
江南区	一斉空き缶回収(横越地区)	4月8日	1.4t
	一斉クリーン作戦(亀田地区)	5月13日	1.4t
秋葉区	一斉クリーン作戦(新津地区)	4月15日	7.0t
南区	信濃川・中ノ口川クリーン作戦	7月8日	1.5t
	一斉クリーン作戦(味方地区)	4月8日	3.0t
西区	一斉クリーンデー	8月5日	3.6t
西蒲区	クリーン作戦(巻地区)	8月5日	3.7t
	一斉クリーン作戦(西川地区)	(春)4月8日	(春)1.2t
		(秋)10月21日	(秋)0.5t
	クリーン作戦(潟東地区)	8月5日	3.3t
	一斉清掃(岩室地区)	3月17日	2.3t
一斉清掃(中之口地区)	(春)3月17日	(春)1.3t	
	(秋)10月14日	(秋)0.9t	

(4) ボランティア清掃の参加者数（各区の一斉清掃含む）

平成30年度のボランティア清掃への参加者数は次のとおりである。

	ボランティア清掃	一斉清掃	合 計
北 区	12,804 人	1,910 人	14,714 人
東 区	25,505 人	5,757 人	31,262 人
中 央 区	16,579 人	1,400 人	17,979 人
江 南 区	10,256 人	5,060 人	15,316 人
秋 葉 区	4,361 人	6,859 人	11,220 人
南 区	10,050 人	2,527 人	12,577 人
西 区	28,144 人	8,915 人	37,059 人
西 蒲 区	3,707 人	16,354 人	20,061 人
本 庁		2,240 人	2,240 人
計	111,406 人	51,022 人	162,428 人

(5) 環境美化整備等補助

地域の環境の保全や環境美化を図ることを目的とし、地域清掃等の活動に対し助成を行った。

①環境美化活動費に対する助成

自治会・町内会、地域コミュニティ協議会等が行う一斉清掃に対する助成（清掃用具など）

②不法投棄処理費に対する助成

自治会・町内会、地域コミュニティ協議会等が行った一斉清掃で回収された特定廃家電などの処理困難物の処理費に対する助成

第6章 し尿・浄化槽汚泥処理事業

1 経緯及び現況	
(1) 経緯	53
(2) 令和元年度処理計画フロー	53
2 し尿及び浄化槽汚泥処理実績	
(1) 処理方法別人口	54
(2) 平成30年度処理実績フロー	54
(3) 収集処理実績	55

新潟市清掃事業概要

1 経緯及び現況

(1) 経緯

本市のし尿処理事業は、昭和 32 年の船見町し尿処理場の完成によって、いわゆる陸上処理が開始された。その後、し尿は農村需要の大幅な減少と人口増加により増加傾向にあったことから、昭和 36 年に東清掃センターし尿処理施設を、昭和 41 年に西清掃センターし尿処理施設を整備するとともに、新潟地区広域清掃事務組合において、舞平処理場を整備し処理を行ってきた。

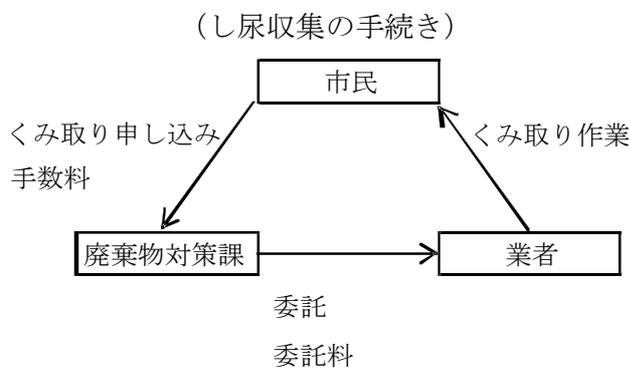
しかし、昭和 50 年代以降は下水道の普及に伴い、し尿の減少は著しいものとなってきたため、順次施設の縮小を行いながら、平成 11 年度には西清掃センターの処理を停止し、平成 14 年度には東処理センターでの処理を工業用水希釈後の下水道投入に切り替えた。

一方、老朽化した施設の更新に着手し、平成 14 年度に舞平清掃センター、合併後の平成 24 年度に巻処理センターが新施設での処理を開始した。また、白根し尿処理場は平成 24 年度に廃止した。

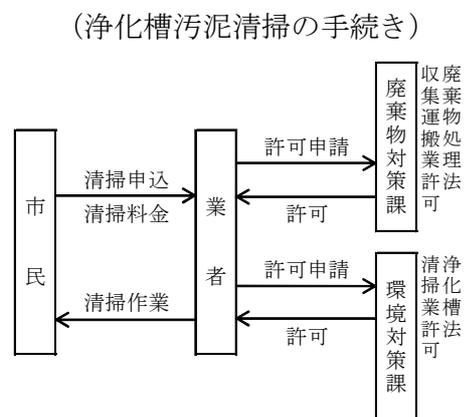
し尿収集については市内全域を処理計画区域とし、処理手数料については下表のとおり定額制と従量制に区分され委託業者別に収集区域を定めている。

浄化槽汚泥については、浄化槽法に基づく許可および廃棄物処理法に基づく収集運搬許可業者が清掃を行っており、収集は業者別の区域指定がある。

区分	対象	収集回数
定額制	一般家庭	月 1 回収集（それ以外は別料金）
従量制	一般家庭・事業所・アパート・店舗等	申込みの都度収集



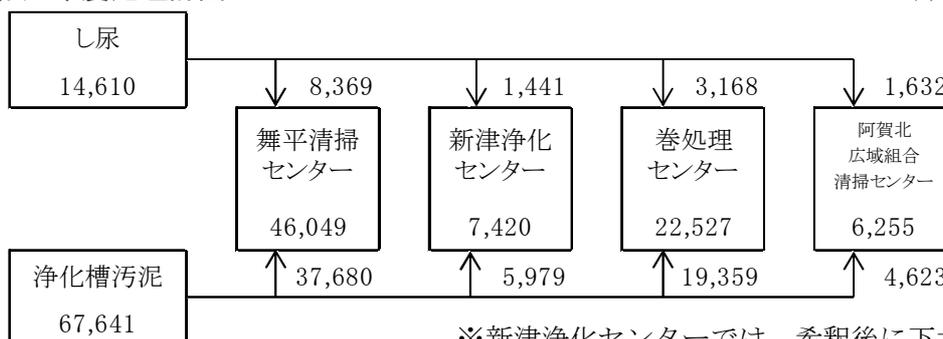
※ 手数料は条例で定める額



※ 清掃料金は各業者による額

(2) 令和元年度処理計画フロー

(単位：kℓ)



※新津浄化センターでは、希釈後に下水道へ投入

2 し尿及び浄化槽汚泥処理実績

(1) 処理方法別人口

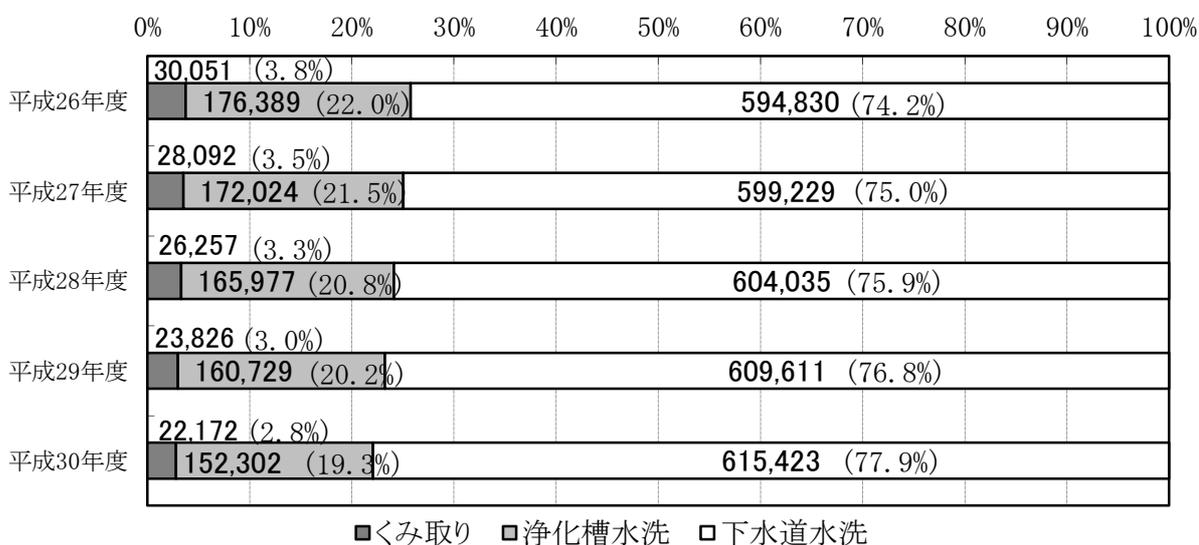
(平成31年3月31日現在)

区 分	人 口	世 帯
計	22,172人	9,149世帯
くみ取り	定額制	2,945人
	従量制	19,227人
浄化槽水洗	152,302人	31,695世帯
下水道水洗	615,423人	289,002世帯
合 計	789,897人	338,995世帯

※人口・世帯数は住民基本台帳より

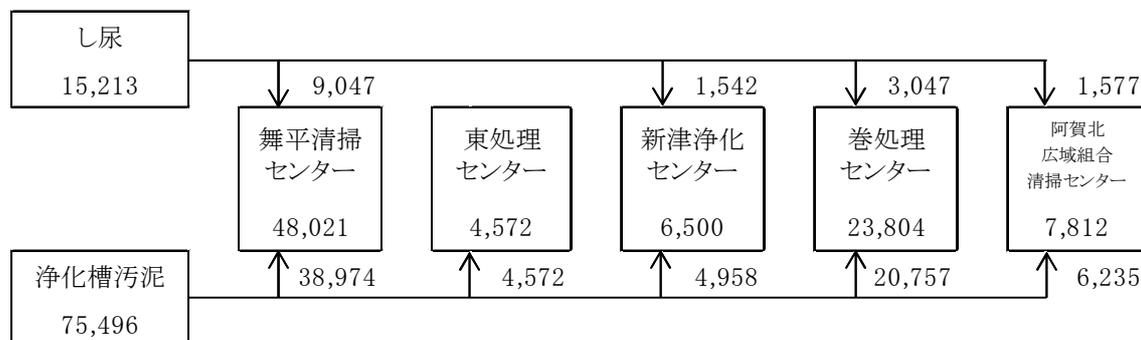
[参考] 年度別処理対象人口推移 (各年度末)

(単位：人)



(2) 平成30年度処理実績フロー

(単位：kℓ)



※ 東処理センター及び新津浄化センターでは、希釈後に下水道へ投入

(3) 収集処理実績

(単位：k0)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度 処理施設 内訳					
						舞平清掃センター	東処理センター	新津浄化センター	巻処理センター	阿賀北広域組合	
新潟広域※	し尿	9,306	8,659	7,833	7,497	6,478	6,478				
		100	93	84	81	70	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	37,477	34,350	33,429	30,624	30,023	25,409	4,572		42	
		100	92	89	82	80	-	-	-	-	-
	計	46,783	43,009	41,262	38,121	36,501	31,887	4,572		42	
	100	92	88	81	78	-	-	-	-	-	
新津地区	し尿	1,991	1,861	1,638	1,550	1,417			1,417		
		100	93	82	78	71	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	5,642	5,390	5,448	4,845	4,793			4,793		
		100	96	97	86	85	-	-	-	-	-
	計	7,633	7,251	7,086	6,395	6,210			6,210		
	100	95	93	84	81	-	-	-	-	-	
白根広域※	し尿	3,957	3,485	3,023	2,895	3,085	2,569		125	391	
		100	88	76	73	78	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	15,944	16,039	16,238	15,292	15,774	13,565		165	2,044	
		100	101	102	96	99	-	-	-	-	-
	計	19,901	19,524	19,261	18,187	18,859	16,134		290	2,435	
	100	98	97	91	95	-	-	-	-	-	
豊栄地区	し尿	2,166	1,943	1,811	1,825	1,577					1,577
		100	90	84	84	73	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	6,605	6,389	6,462	5,307	6,235					6,235
		100	97	98	80	94	-	-	-	-	-
	計	8,771	8,332	8,273	7,132	7,812					7,812
	100	95	94	81	89	-	-	-	-	-	
巻広域※	し尿	3,231	2,955	2,828	2,969	2,656				2,656	
		100	91	88	92	82	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	18,875	18,516	18,837	17,686	18,671				18,671	
		100	98	100	94	99	-	-	-	-	-
	計	22,106	21,471	21,665	20,655	21,327				21,327	
	100	97	98	93	96	-	-	-	-	-	
計	し尿	20,651	18,903	17,133	16,736	15,213	9,047	0	1,542	3,047	1,577
		100	92	83	81	74	-	-	-	-	-
	浄化槽汚泥	84,543	80,684	80,414	73,754	75,496	38,974	4,572	4,958	20,757	6,235
		100	95	95	87	89	-	-	-	-	-
	計	105,194	99,587	97,547	90,490	90,709	48,021	4,572	6,500	23,804	7,812
	100	95	93	86	86	-	-	-	-	-	

※収集量下段の斜体の数値は、平成26年度を100とした指数

- ・新潟広域：新潟地区、黒埼地区、亀田地区、横越地区
- ・白根広域：白根地区、小須戸地区、味方地区、月潟地区、中之口地区
- ・巻広域：巻地区、岩室地区、西川地区、潟東地区

第7章 産業廃棄物の現状と対策

1 概説	57
2 産業廃棄物の排出状況と処理状況	57
3 産業廃棄物処理施設の設置状況と処理状況	58
4 産業廃棄物処理業者の許可と処理状況	58
5 自動車リサイクル法に基づく許可・登録状況	60
6 廃PCB等の保管状況	60
7 産業廃棄物の適正処理対策	60

1 概説

産業廃棄物とは、事業活動に伴って発生する燃え殻、汚泥、がれき類等の廃棄物をいい、法令で20種類が指定され、排出事業者による適正処理が義務づけられている。

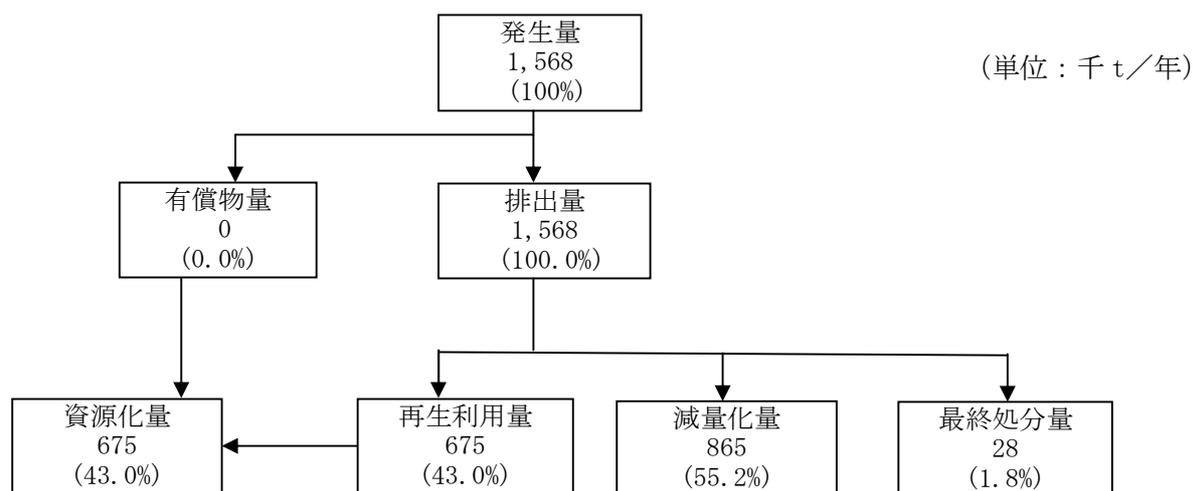
これらは、人間の生活を支える産業活動から不可避免的に発生するもので、多量に排出され、有害物質を含むものや処理困難なものが多いことから、市民の健康や生活環境の保全のため適正な処理が必要となっている。

焼却場や最終処分場等の設置にあたっては、建設コストの高騰や、住民合意が得られないことなどから、発生の抑制とリサイクルの推進が急務となっている。

2 産業廃棄物の排出状況と処理状況

平成30年度の排出量は、発生量1,568千トンであり、前年度(1,486千トン)から微増となった。

排出量1,568千トンの産業廃棄物は、中間処理により1,540千トンが減量化又は再生利用されたため、最終処分の対象として残った28千トンは最終処分業者等で処分されている。



○主な廃棄物の種類別排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が989千トン(全体の63.1%)で最も多く、次いでがれき類が379千トン(24.2%)で、排出量全体の87.3%を占めている。

なお、汚泥は排出時点においては多量であるが、排出事業者等による脱水、乾燥等の処理により大幅に減量されている。

(単位：千t/年)

種類	排出量 (構成比)	再生利用量 (再生利用率)
汚泥	989 (63.1%)	124 (12.5%)
がれき類	379 (24.2%)	357 (94.2%)

3 産業廃棄物処理施設の設置状況と処理状況

産業廃棄物処理施設には、焼却炉や脱水機等の中間処理施設と埋立地の最終処分場があり、政令で 19 施設を規定している。以下の表は、平成 31 年 3 月 31 日現在の本市で許可している施設の設置数と、その施設で平成 30 年度中に処理した廃棄物量を示している。

中間処理施設の種類	設置施設数				年間処理量 (t)			
	事業	処理業者	公共	合計	事業者	処理業	公共	合計
汚泥の脱水施設	10	7	1	18	73,033	15,397	22,355	110,785
汚泥の乾燥施設 (機械)	1	3		4	322	21,088		21,410
〃 (天日)		2		2		22,533		22,533
廃油の油水分離施設		4		4		3,439		3,439
廃プラの破碎施設		30		30		47,877		47,877
木くず又はがれき類の破碎施設	2	64		66	1,908	736,666		738,574
シアンの分解施設	2	1		3	19,888	2		19,890
廃酸及び廃アルカリの中和施設								
小 計	15	111	1	127	95,151	847,002	22,355	964,508
汚泥の焼却施設	2	2		4	55,636	2,834		58,471
廃油の焼却施設	2	3		5	43,252	1,605		44,857
廃プラの焼却施設		6		6		9,439		9,439
その他の焼却施設	4	7		11	2,864	8,529		11,393
小 計	8	18	0	26	101,752	22,408	0	124,160
合 計	23	129	1	153	196,903	869,410	22,355	1,088,668

最終処分場の種類		埋立地 設置数	処分量 (m ²)		処分容積 (m ³)		年間処分量 (t)
			届出面積	残存面積	届出容積	残存容積	
安定型最 終処分場	事業者						
	処理業者	1	2,121	998	7,048	1,398	269
	小 計	1	2,121	998	7,048	1,398	269
管理型最 終処分場	事業者						
	処理業者						
	小 計	0	0	0	0	0	0
合 計		1	2,121	998	7,048	1,398	269

(法第 15 条の許可施設)

4 産業廃棄物処理業者の許可と処理状況

産業廃棄物処理業者とは、排出者にかわって産業廃棄物の適正処理を行うことを業とするものである。次の表は、平成 31 年 3 月 31 日現在の本市が許可した件数を示している。

業 の 区 分	許可件数
産業廃棄物収集運搬業	120 件
産業廃棄物処分業 (中間処理)	94 件
産業廃棄物処分業 (最終処分)	2 件
特別管理産業廃棄物収集運搬業	25 件
特別管理産業廃棄物処分業 (中間処理)	9 件

○平成30年度の許可業者の処分量

(単位：t/年)

種 類		処 分 量	
		中間処理量	埋立処分量
産 業 廃 棄 物	燃え殻	2,715	
	汚泥	104,307	
	廃油	7,650	
	廃酸	1,846	
	廃アルカリ	4,694	
	廃プラスチック類	68,914	25
	紙くず	9,859	
	木くず	83,707	
	繊維くず	2,112	
	動植物性残渣	3,816	
	動物系固形不要物		
	ゴムくず	33	
	金属くず	14,919	6
	ガラスコンクリート陶磁器くず	60,428	187
	鋳さい	1,486	
	がれき類	773,415	10
	動物のふん尿	10	
	動物の死体		
	ばいじん	18,076	
	小 計	1,157,987	228
特別 管理 産業 廃棄 物	危険物廃油	217	
	強廃酸	353	
	強廃アルカリ	415	
	感染性産業廃棄物	1,932	
	廃PCB等	0	
	廃石綿等	0	
	有害金属含有産業廃棄物	246	
	小 計	3,163	0
合 計	1,161,150	228	

5 自動車リサイクル法に基づく許可・登録状況

業 の 種 類	許可・登録件数
使用済自動車引取業	164 件
使用済自動車フロン類回収業	72 件
使用済自動車解体業	42 件
使用済自動車破碎業	10 件

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

6 廃 PCB 等の保管状況

濃度区分 廃棄物の種類	高濃度		低濃度	
	事業所数	数量	事業所数	数量
変圧器（トランス）	6	11 台	36	81 台
コンデンサー（3kg 以上）	68	107 台	17	48 台
コンデンサー（3kg 未満）	10	1,166 台	1	12 台
柱上変圧器（柱上トランス）			1	1 台
安定器	68	9,637 台/個		
その他 PCB を含む油	4	562.66 kg	9	76.61 kg 他
感圧複写紙	2	23.60 kg	1	8 kg
ウエス	5	1,107.02 kg	6	436.27 kg 他
汚泥			2	109.52 kg
塗膜				
その他電気機械器具			104	456 台/個
その他	4	2,983.80 kg 他	15	7,450.15 kg 他

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

7 産業廃棄物の適正処理対策

令和元年度に実施する産業廃棄物の主な適正処理対策は、以下のとおりである。

- (1) 処理施設、処理業者、廃棄物保管場所などへの立入検査・指導の実施
- (2) 解体工事現場への立入検査・指導の実施
- (3) 不法投棄等監視のためのパトロールの実施、監視カメラの設置
- (4) PCB 廃棄物保管事業者等への適正管理、適正処理指導の実施

第8章 一部事務組合

1 豊栄郷清掃施設処理組合

(1) 概説	61
(2) 組織・人員	61
(3) 事業費	62
(4) 平成30年度処理実績	62

2 阿賀北広域組合

(1) 概説	63
(2) 組織・人員	63
(3) 事業費	64
(4) 平成30年度処理実績	64

1 豊栄郷清掃施設処理組合

(1) 概説

昭和45年5月に豊栄町（現在の新潟市北区豊栄地区）と聖籠村（現在の聖籠町）のごみ処理施設の設置及び維持管理を行うために設置された。

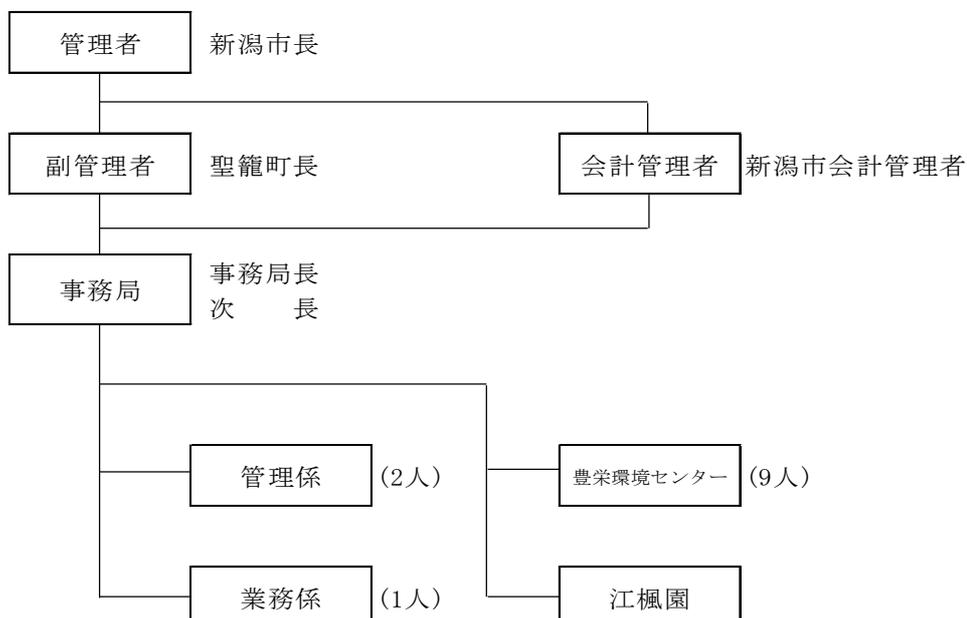
平成17年3月の豊栄市と新潟市ほか11市町村の合併に伴い、旧豊栄市分の事務が新潟市に引き継がれたことにより、新潟市北区と聖籠町のごみの適正処理を行っている。

[事務局] 新潟市北区浦ノ入418番地（豊栄環境センター内） TEL：025-386-0909

[沿革]

S45. 5月	・豊栄郷清掃施設処理組合設立
S46. 5月	・黒山じん芥センター（焼却施設）の稼動開始 ～処理能力：15t/8h×2炉=30t/日
S56. 4月	・豊栄環境センター（焼却施設）1・2号炉の稼動開始 ～処理能力：40t/16h×2炉=80t/日
S62. 4月	・不燃ごみ処理施設稼動開始 ～処理能力：30t/5h
H 1. 4月	・小動物処理施設稼動開始
H 4. 4月	・江楓園（最終処分場）埋立開始 ～埋立面積：20,699 m ² 、埋立容量：80,910 m ³
H 9. 1月	・豊栄環境センター（焼却施設）3号炉（50t/16h）の稼動開始
H12. 1月	・豊栄環境センター（焼却施設）1・2号炉排ガス高度処理施設整備 工事終了
H15. 4月	・プラスチック製容器包装処理開始
H17. 3月	・豊栄市が新潟市と編入合併し、構成団体が新潟市と聖籠町となる。
H21. 4月	・新潟市の家庭ごみを搬入できる区域を豊栄地区から北区に拡大

(2) 組織・人員



(3) 事業費

① 平成30年度決算額

区分		金額(千円)	備考
歳入	負担金	516,865	新潟市:380,222千円(73.56%)、聖籠町:136,643千円(26.44%)
	使用料及び手数料	88,622	行政財産使用料、ごみ処理手数料
	その他	82,192	繰越金・諸収入
	計	687,679	
歳出	議会費	657	組合議会に係る経費
	総務費	41,724	組合事務局に係る経費
	衛生費	599,939	ごみ処理・埋立・プラスチック処理に係る経費
	公債費	14,594	
	計	656,914	

② 令和元年度予算額

区分		金額(千円)	備考
歳入	負担金	521,114	新潟市:385,144千円(73.91%)、聖籠町:135,970千円(26.09%)
	使用料及び手数料	87,470	行政財産使用料、ごみ処理手数料
	その他	13,416	繰越金・諸収入
	計	622,000	
歳出	議会費	720	組合議会に係る経費
	総務費	47,693	組合事務局に係る経費
	衛生費	557,993	ごみ処理・埋立・プラスチック処理に係る経費
	公債費	14,594	
	予備費	1,000	
	計	622,000	

(4) 平成30年度処理実績

区分	処理量(t)	内訳
豊栄環境センター(焼却)	16,969	新潟市:12,738t、聖籠町:4,231t
豊栄環境センター(破砕)	927	新潟市:689t、聖籠町:238t
プラスチック処理施設	223	新潟市:70t、聖籠町:153t
江楓園(最終処分場)	2,730	新潟市:2,044t、聖籠町:686t
計	20,849	新潟市:15,383t、聖籠町:5,290t

2 阿賀北広域組合

(1) 概説

昭和54年4月に北蒲西南部清掃センター組合ほか4つの組合を統合して設立され、ごみ処理施設（旧豊栄市を除く）やし尿処理施設、斎場施設等の設置及び維持管理を行ってきた。

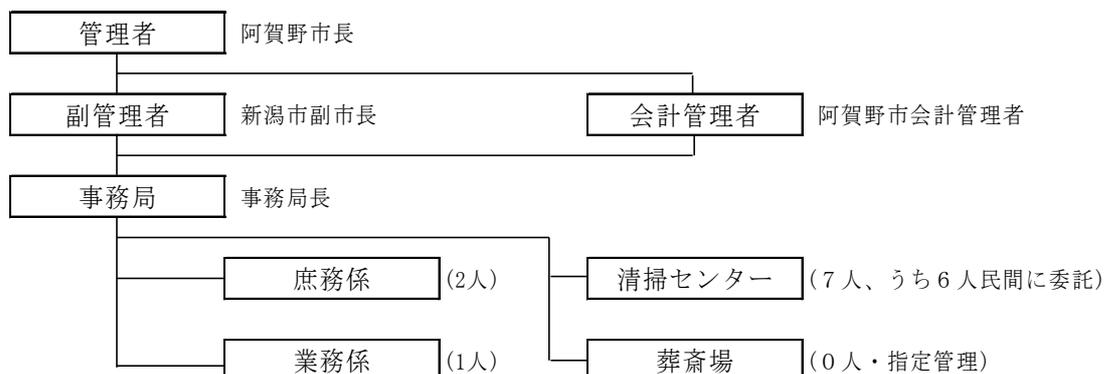
平成16年4月の水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村の合併に伴い、ごみ処理及び消防等の事務を廃止（阿賀野市へ継承）した。また、平成17年3月の豊栄市と新潟市ほか11市町村の合併により、旧豊栄市分の事務が新潟市に引き継がれ、現在、阿賀野市と新潟市豊栄地区分のし尿処理施設、斎場の維持・管理を行っている。

[事務局] 阿賀野市船居字権九郎新田 496 番地 1 TEL : 025-387-2000

[沿革]

S41. 1月	・北蒲西南部清掃センター組合設立 (豊栄市、水原町、笹神村、京ヶ瀬村)
S43. 4月	・水原郷ごみ処理組合設立 (水原町、笹神村、京ヶ瀬村)
S48. 4月	・水原郷消防組合設立 (水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村)
S49. 4月	・阿賀北郷葬斎組合設立 (豊栄市、水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村) ・五頭連峰少年自然の家組合設立 (豊栄市、水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村)
S54. 4月	・上記5つの組合を引き継ぎ、阿賀北広域組合設立
H12. 7月	・少年自然の家に関する事務を廃止（笹神村に移管）
H16. 4月	・水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村による阿賀野市の新設合併により、構成団体が阿賀野市、豊栄市に変更 ・ごみ処理、消防、総合運動場に関する事務を廃止（阿賀野市へ継承）
H17. 3月	・豊栄市が新潟市と編入合併し、構成団体が新潟市と阿賀野市に変更

(2) 組織・人員



※令和元年6月30日現在

(3) 事業費

① 平成30年度決算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	分担金及び負担金	194,545	新潟市:97,188千円(49.96%)、阿賀野市:97,357千円(50.04%)
	使用料及び手数料	19,420	葬斎場使用料
	その他	23,984	繰越金・諸収入
	計	237,949	
歳出	議会費	937	組合議会に係る経費
	総務費	18,481	組合事務局に係る経費
	衛生費	190,676	し尿処理施設・葬斎施設に係る経費
	公債費	0	
	計	210,094	

② 令和元年度予算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	分担金及び負担金	218,313	新潟市:101,924千円(46.7%)、阿賀野市:116,389千円(53.3%)
	使用料及び手数料	18,200	葬斎場使用料
	その他	7,510	繰越金・諸収入
	計	244,023	
歳出	議会費	976	組合議会に係る経費
	総務費	29,039	組合事務局に係る経費
	衛生費	210,008	し尿処理施設・葬斎施設に係る経費
	予備費	4,000	
	計	244,023	

(4) 平成30年度処理実績

区 分	処理量(kℓ)	備 考
し尿	3,473	新潟市:1,577kℓ、阿賀野市:1,896kℓ
浄化槽汚泥	11,882	新潟市:6,235kℓ、阿賀野市:5,647kℓ
計	15,355	新潟市:7,812kℓ、阿賀野市:7,543kℓ